

第四十一回 帝國議會 貴族院議事速記録第二十三號

大正八年三月二十四日(月曜日)

午前十時五分開議

議事日程 第二十三號 大正八年三月二十四日

午前十時開議

第一 大正八年度歳入歳出總豫算追加案(第三號)審査期限ヲ定ムルノ件
第二 大正八年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)審査期限ヲ定ムルノ件

第三 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號)審査期限ヲ定ムルノ件

第四 地方鐵道法案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第五 輕便鐵道補助法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第六 鐵道抵當法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第七 鐵道船舶郵便法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第八 鐵道營業法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第九 軌道條例中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十 仙北輕便鐵道買收費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十一 大正七年法律第三十七號中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十二 中等學校教員優遇ニ關スル建議案(侯爵德川賴倫君六名會發議)

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔長書記官朗讀〕

去ル二十一日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

道路法案

時局ノ影響ニ因ル地方税制限擴張ニ關スル法律案

貴族院議事速記録第二十三號

大正八年三月二十四日

報告

大正八年度歳入歳出總豫算追加案

四二七

私立學校用地免租ニ關スル法律案
耕地整理法中改正法律案

同日本院ニ於テ承諾スヘキモノト議定シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ奏上シ又承諾スヘキモノト議決シタル旨ヲ衆議院ニ通知セリ

大正七年勅令第三百七十三號(承諾ヲ求ムル件)

同日本院ニ於テ可決シタル左ノ衆議院提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

地租條例中改正法律案

同日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

會計士法案特別委員會

委員長 伯爵堀田 正恒君 副委員長 上山滿之進君

司法代書人法案特別委員會

委員長 伯爵柳原 義光君 副委員長 山脇 玄君

同日委員長ヨリ左ノ報告ヲ提出セリ

大正七年法律第三十七號中改正法律案可決報告書

地方鐵道法案可決報告書

輕便鐵道補助法中改正法律案可決報告書

鐵道抵當法中改正法律案可決報告書

鐵道船舶郵便法中改正法律案可決報告書

鐵道營業法中改正法律案可決報告書

軌道條例中改正法律案可決報告書

仙北輕便鐵道買收費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案可決報告書

請願委員會特別報告第七號

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

大正八年度歳入歳出總豫算追加案(第三號)

大正八年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號)

同日衆議院ヨリ左ノ本院提出案ハ同院ニ於テ可決シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

史蹟名勝天然紀念物保存法案

同日侯爵德川賴倫君外六名ヨリ七十一名ノ賛成ヲ以テ左ノ建議案ヲ發議

セリ

中等學校教員優遇ニ關スル建議案

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、本日モ通牒文ノ朗讀ヲ省略イタシタク存ジマス、御異議ガゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナシト認メマス、日程第一、大正八年度歳入歳出總豫算追加案(第三號)、第二、大正八年度各特別會計歳入歳出豫算追加案、(特第一號)、第三、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號)、審査期限ヲ定ムルノ件

(第三號)大正八年度歳入歳出總豫算追加案
右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
大正八年三月二十一日

衆議院議長大岡 育造

貴族院議長公爵德川家達殿

(特第一號)大正八年度各特別會計歳入歳出豫算追加案

右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
大正八年三月二十一日

衆議院議長大岡 育造

貴族院議長公爵德川家達殿

(追第二號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件
右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第三十四條ニ依リ及送付候也
大正八年三月二十一日

衆議院議長大岡 育造

貴族院議長公爵德川家達殿

〔國務大臣(男爵高橋是清君)演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵高橋是清君) 今回提出イタシマシタル大正八年度追加豫算ハ歳入、歳出各、千四百七十餘万圓デゴザイマス、其事項ハ或ハ時勢ノ進運ニ應ジ、或ハ法律制度ニ伴ヒ必要已ムベカラザルモノ、若クハ災害ノ復舊ニ要

シマスル經費等デゴザイマス、何レモ緊急已ムベカラザル支出デゴザイマス、即チ其重ナル事項ノ金額ヲ申シマス、警察費連帶支辨ガ三十餘万圓、神戸、門司兩港ノ修築費ガ一括シテ百四十餘万圓、帝國開墾株式會社補助金ガ三十万圓、織物組合交付金ガ十五萬餘圓、軍人恩給増加ガ百四十万圓、府縣災害土木費國庫補助金ガ六百十餘万圓、同ジク災害土木費借入金利子ノ補給額ガ三十餘万圓、仙臺遞信省所管諸官署火災復舊費八十餘万圓等デゴザイマス、右歳出ニ對シテハ神戸及門司港ノ設備費分擔金百四十餘万圓、及前年度繰入金千三百三十餘万圓ヲ以テ之ガ財源ニ充當スル計畫デゴザイマス、神戸港修築費ノ總額ガ二千七百十餘万圓デゴザイマス、十箇年度間ノ繼續費デゴザイマス、内外貿易設備費及防波堤ノ築造ニ要スル經費デゴザイマス、又門司港修築費ハ總額五百二十五万圓ハ八年度間ノ繼續費デアリマシテ、内外貿易設備ニ要スル經費デアリマス、以上ハ一般會計ニ付テ申述ベマシタガ、尙ホ專賣局以下四特別會計ニ於テ追加ヲ要スルモノガゴザイマス、其他災害土木費借入金利子補給及帝國開墾株式會社補助ニ付キマシテ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲナスベク要シマスルモノ、又南滿洲鐵道株式會社ノ利益配當ニ關スル契約條項ヲ變更スルヲ至當ト認メマスルニ依リ、以上三件ニ付キ茲ニ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲナスノ件ノ協賛ヲ求メタ次第デゴザイマス、以上御審議ノ上御協賛アラムコトヲ望ミマス、此際特ニ申上ゲテ置キマスガ、マダ大體ノ説明ヲ要スル點モゴザイマス、是ハ農商務省所管ノ臨時部ニ置キマス帝國開墾株式會社ノ補助金三十万圓ニ關スルコトデゴザイマス、此會社ノコトニ付キマシテハ世間ニ段々誤解ガアリマス、其誤解ノ基ク所ハ既ニ政府ガ曩ニ開墾助成法案ヲ出シタ其後突如トシテ此開墾會社ノ獎勵金ヲ決スルニ至ッタノデアリマシテ、恰モ政府ガ何カ富豪ノ意ヲ迎合シテ彼等ヲ庇フト云フ誤解デアリマス、是ハ開墾助成法案ハ政府ニ於キマシテハ今日ハ食糧問題ヲ主トシタルモノデアリマシテ、彼ノ獎勵法案ニ依ッテ總テ食糧問題ガ解決セラレタリトシテ満足シテ居ル趣意デアリマセヌケレドモ、先ヅ第一著手トシテ施設セムトシテ居ルデアリマス、常ニ外國等ノ比例ヲ見マスルト云フト如何ニモ我國ノ面積ハ人口等ニ照シ外國ニ比例ヲ取リマシテモ耕地ノ少キハ著シイ次第デアリマシテ、佛國ニ於キマシテモ人口三千九百万人デ面積ガ二十万七千方里デアリマシテ、其開墾地ハ總テノ面積ノ五割九分ヲ占メテ居ルノデアリマス、獨逸、英國、伊太利ノ如キモ何レモ四割九分、四割八分、

四割六分ト言ヒマシテ、稍、其面積ガ半バニ達シテ居リマスルガ、單リ我國ハ五千六百萬ノ人口ヲ有シ、國ノ面積ハ十四萬九千方里デアリマスルガ、開墾地ハ僅ニ其一割五分ニ過ギヌノデゴザイマス、總テ此農産ノ物資ノ少イト云フコトガ即チ國ノ富ノ増進ヲ遲タラシムル原因デアリマスカラ、豫テ政府ハ我國ノ開墾地ノ著シク進歩セスケレバナラスト云フ必要ヲ感ジテ居リマシタル際、國產獎勵會及東北振興會ナルモノヲ組織シテ居ラレル有志諸君ガ、今日ノ時勢ニ於テ開墾ヲ獎勵スルコトノ必要ヲ認メラレ、其計畫ヲ總理大臣ニ話サレタノデゴザイマス、豫テ政府ハ開墾ノ獎勵ニ付テハ考ヘテ居リマシタル所、其計畫ハ恰モ政府ノ考ヘテ居タル所ト一致點ガアッタノデゴザイマス、併ナガラ總テノ計畫ノ詳細ニ至ルマデ商議ヲ盡ス暇ハナカッタノデアリマス、大體骨子トナル要點ニ付テハ開墾會社ノ計畫者ト政府トハ其意見ガ一致シタノデアリマスルガ、此時機ニ於テ此仕事ヲナサムト欲シテ追加豫算ニモ計上シタル次第デアリマシテ、決シテ富豪ノ意ヲ迎合シテ之ヲ庇ッテ爲ニ此會社ヲ起スナドト云フコトハ計畫者ニ於キマシテモ、政府ニ於キマシテモ毫モ其考ハ無イコトハ無論ノ話デアリマス、故ニ初メヨリ其話ノ中ニ政府ガ八米ノ配當ヲ保障スルト云フコトハ、唯其事ダケヲ聞キマスレバ、如何ニモ保護ノ厚キト云フ觀念ヲ世人ガ持ツデアラウ、誤解ヲ來タサレテハナラヌカラシテ、最初ヨリ發起人、贊成者タル者ハ千株ニ止メル、其以上ハ持タスヤウニシテ成ルベク全國ニ廣ク此株ヲ募集シタイト云フノガ第一ノ希望デアリマス、政府モ固ヨリサウナケレバナラスト考ヘテ答ヲ致シタル次第デ、且又先般來米國ニ於テ自由公債ヲ發行シタル結果、米國民ガ一般ニ勤儉ト云フ觀念ガ大ニ涵養サレマシテ、自由公債應募高ノ殖エルト同時ニ貯蓄金マデ殖エテ行クト云フ好結果ヲ現ハシマシタノハ、國民ヲシテ國家ノ爲ニ浪費シテハナラスト云フ考ヲ、此自由公債募集ノ結果ニ依ッテ得タル副產物デアッタノデアリマス、普ク此株ヲ全國ニ互ッテ募集シマスレバ、今日我國ノ開墾ノ必要ナルコトハ、矢張り米國ノ地方ノ人々ガ貯蓄ノ必要ヲ感ジタコトト同ジコトニ、此開墾ノ必要ナルコトノ觀念ヲ喚ビ起サスト云フコトニナルデアリマシテ、最初ヨリシテ此株ノ募集ニ付キマシテハ發起人、贊成者ガ多ク持タヌト云フコトノ一ツノ條件デアッタノデアリマス、又同様ナ次第デアリマシテ、モウ一ツハ此會社ハ營利ヲ目的トシナイノデアアル、ドコモデモ國家的ノ働キ、謂ハバ國家ニ代ッテ働イテ開墾ノ實ヲ舉ゲルト云フ精神ニ出タノデアリマス、故ニ營

利ノ目的ハ無イノデアリマス、他ノ營利會社ト違フト云フコトガ第二ノ一致點デアリマス、ソレニ富豪ノ爲ニ設ケタ會社ナゾト云フコトハ全ク誤解ニ出テ居ルノデアリマス、第二ノ誤解ハ開墾助成法ニ依ッテ開墾スルモノト、此開墾會社トノ二ツノ區別ガ明ニナッテ居ラスノデアリマス、ソレヨリ誤解ヲ生ズル、開墾助成法ニ依ッテ開墾ヲ獎勵イタシマスルノハ重ニ其土地ヲ自ラ所有セムトスル者ニ向ッテノ是ハ獎勵法デアリマス、己ノ有ッテ居ル土地若クハ政府カラ拂下ゲタル土地ヲ開墾シテ長ク己ノ所有ニシテ、サウシテ其收穫ニ依ッテ將來ニ利益ヲ獲得セムトスル者ニ向ッテノ助成法デアリマス、故ニ人々ノ自由デアリマスカラ、國家ノ見地ヨリ見テ、此所ヲ開墾スベキモノナリト云フ必要ヲ國ガ感ジマシテモ、強テ開墾助成法ニ依ッテ個人ニ向ッテ必ズ之ヲ開墾シロト云フコトハ出來ナイ性質ノモノデアアル、ドコモデモ個人ノ自由ノ考ニ委セテ開墾ヲ獎勵スルト云フ趣意ニ出テ、而モ其開墾地ハ其開墾シタ人ノ所有ニ長ク歸スルモノデアアル、此帝國開墾株式會社ナルモノハ之ニ反シマシテ、一寸ノ土地モ長ク會社ハ所有スルコトガ出來ナイノデアリマス、三千万圓ノ資本ヲ投ジ、ソレヲ繰返シ繰返シ利用運用シ、以テ出來ルダケ土地ヲ開墾シテ、サウシテ出來上ッタ開墾地ヲ自作農又ハ緣故者、地方ノ公共團體等ニ片端カラシテ殆ド原價ヲ以テ拂下ゲテ行クト云フ方針デアリマス、是ガ即チ營利ヲ目的トシナイ一ツノ事實デアリマス、斯ノ如ク大體ニ於テ開墾ト云フコトヲ勸ムル目的ニ於テハ同一デアリマスケレドモ、其手段ト結果ニ至テハ全ク別ナルモノデアリマス、而モ開墾會社ニ向ヒマシテハ、是ハ何レ實行ノ場合ニ至リマスレバ土地利用調査委員ト云フヤウナ機關ガ出來マシテ、個人若クハ團體ノ資財ヲ以テ開墾ヲシ得ナイ所ノモノヲ國ガ命ジテ以テ開墾ヲサセル、ソレニハ大資本ヲ要スルト申シマスノハ、大ナル機械ノ働ニ依ラナケレバナラスノデアリマス、土地ヲ起シ若クハ木ノ根ヲ掘リ返スト云フヤウナコトハ、人手ヲ以テシテハ勞費ガ掛ッテ價ハヌノデアリマスカラ、ソレヲ機械ノ働キニ依ッテ爲シ、或ハ又灌溉、排水等ノ工事ニシテモ、唯一部局ノ國民ノ自由ニ開墾セムト欲スル土地ダケニ付テハ、左様ナ機械等ニ資本ヲ下シテハ到底算盤ガ取レスト云フヤウナモノヲ、國ガ此會社ニ命ジテ成ルベク勞費ヲ安クシテ、機械ノ働キ等ニ依ッテ當リ前ノ人ノ爲シ得ザル場所ノ開墾ヲサセルト云フノガ目的デゴザイマス、而シテ此開墾會社ハ出來上ッタ土地ハ必ズ個人若クハ團體等ニ原價ニ殆ド原價ヲ以テ拂下ゲテ行クト云フ、賣渡シテ

行クト云フ性質ノモノデアリマス、即チ發起者等ノ話ニ依リマス、今日職業ニ離レタル労働者ノ如キ者ガ、身體サヘ壯健デアレバ殆ド何等持タズニ行ッテ、此會社ガ開墾シタル土地ニ就テハ小屋モ造ッテヤリ、農具モ貸シテヤル、サウシテ自作農ニナル、今日我國ノ農業上ノ缺點ハ年々自作農家ノ減少シテ行クコトデアリマス、故ニ第一自作農家ニ若クハ其緣故者ニ之ヲ拂下ゲ、或ハ公共團體ニ拂下ゲ、其順位ヲ以テ拂下ゲ、賣渡シテ行クト云フノガ目的デゴザイマス、故ニ此二ツノモノハ全ク區別ノアルモノデアリマス、又一ツノ誤解ハ二重利益ヲ得ルト云フコトガ誤解ニナッテ居リマス、此二重利益ヲ得ルト云フコトハ、一方ハ助成法ニ依ッテ補助ヲ得、一方ハ開墾會社ノ八朱ノ補助ニ依ッテ利益ヲ得ル、一人シテ二重ノ利益ヲ得ル、斯ウ云フコトヲ言觸ラスノデアリマス、斯様な事ハアラレナイコトナンデアリマス、此開墾會社ナルモノハ自ラ開墾助成法ニ依ッテ開墾スルト云フコトハ其性質ニ於テ爲シ得ザルコト、又政府モ許スベカラザルコトデアル、如何トナレバ此會社ガ土地ヲ所有スルト云フコトハ目的デナイノデアリマス、又禁ジテアル所デアリマス、開墾助成法案ニ依ッテ補助ヲ受ケル者ハ土地ヲ所有スルト云フ者デアル、故ニ此會社ガ開墾助成法ニ依ッテ二重ノ利益或ハ補助ヲ得ルト云フコトハ不可能デアルト云フコトハ是デ明デアリマス、此開墾助成法ニ依ッテ其助成金ヲ得テ開墾セムト欲スル者ハ開墾會社ノ力ヲ借リルコトガ出來ルノデス、先ニモ申上ゲタル通り此開墾會社ナルモノハ色々ナ機械ヲ用ヒテ、サウシテ開墾ハ費用ヲ安く出來ルト云フコトハ明デアリマス、故ニ開墾助成法ニ依ッテ開墾セムトスル者ガ、自ラ勞シテ開墾スルヨリハ會社ニ頼ンデ開墾シテ貰ッタ方が安ク出來ル、斯ウ云フ算盤ガ立チマスレバ會社ニ之ヲ頼ムノデアリマス、サウシテ開墾助成法ニ依ッテ開墾スル者ハ會社ニ開墾シテ貰ヒマシテモ、其實費ニ對シテハ矢張り六朱ノ補助ハ仰ギ得ルノデアリマス、然ルニ開墾株式會社ニ委託シテ開墾シテ貰フ爲ニ勞銀ガ少イト云フコトハ、開墾ノ實費ノ少イト云フ結果ニナリマスカラ、從ッテ政府ガ開墾助成法ニ依ッテ補助スル所ノ利子ヲソレダケ減ズル次第デアリマス、ソレデ却ッテ開墾助成法ナルモノガ一方ニハアリ、一方ニハ開墾株式會社ナルモノガアッテ、此助成法ニ依ッテ開墾セムトスル者ノ仕事ヲ助クルコトガ出來ル、然ルニ反對論者ハ助成法ノ妨ニナルト云フコトデアリマスガ、決シテ妨ニナラス、兩々相助けテ以テ目的ヲ達スルト云フコトニナルノデアリマス、故ニ二重ノ利益ト云フコトハ決シテ無イ

ノデゴザイマス、又衆議院ニ於キマシテ中々此問題ニ付キマシテハ、質問モ答辯モ澤山ニゴザイマシテ、皆速記録ニ載ッテ居ルノデゴザイマスガ、偶、一層反對者ヲシテ誤解ト云フ口實ヲ與ヘシメタ茲ニ一ツノ遺憾ノ事實ガアルノデゴザイマス、是ハ衆議院ノ豫算委員會ニ於テ會社ノ定款、目論見書等ガ見タイト云フ請求ガ或ル一委員カラ出タノデアリマス、而シテ會社ニ於キマシテハ俄ノ事デアリマシテ、總テソレヲ他ノ染料會社ノ年八朱ノ補助ヲシテ居リマスアノ定款ヲ殆ド其儘寫シテ俄ニ拵ヘテ、政府ハマダ之ヲ審議スル暇モナクシテ、是ハ完全ノモノデナイト云フコトヲ農商務大臣ヨリ斷ッテ參考ノ爲ニ衆議院ノ豫算委員會ノ手許ニソレガ出タノデアリマス、然ルニ不幸ニシテ、他ノ染料會社ノ定款ヲ其儘寫シタヤウナモノデアリマスカラシテ、豫テ政府ガ説明シテ居ル所ト矛盾シテ居ルモノガ多クアルノデアリマス、是ハ政府トシテ甚ダ遺憾トスル所デアリマス、併シ何分時間ガ切迫シテ居リマシテ、俄ノ請求デアル、政府ガ此定款、目論見書、命令書ヲ十分ニ審議スル暇ガナク參考ノ爲ニ十分ナルモノトシテ出シタノガ却ッテ害ニナッタヤウナコトデアリマス、其以來衆議院ニ於キマシテハ質問、應答ヲ重ネマシタ結果、政府ノ眞意ノ在ル所、帝國開墾株式會社ナルモノノ實體モ能ク其質問、應答ノ間ニ判明イタシタノデゴザイマス、ソコニ於テ衆議院ニ於キマシテ此案ヲ賛成セラル、ニ當ッテ條件ガ附イタノデアリマス、希望モアッタノデアル、ソレハ豫算總會ニ於テ質問、應答ノアリマシタ中カラシテ衆議院ノ或ル議員ノ了解シタ點ヲ摘ンデ此ノ如ク了解シテ宜イカ、斯ク希望シテ宜イカト云フコトヲ尋ネタ、ソレハ、一、株式ハ公平ニ募集スルコト、一、計算ヲ監督シ賞與等特ニ監督スルコト、一、年々開墾スベキ地積ヲ豫定シ認可スルコト、一、個人乃至法人ノ開墾助成法ニ依リ開墾セムトスル者ト競争スルコトヲ許サザルコト、一、天災其他ノ或ル事由ニ因リ損失ヲ招ク憂アル地區ヲ開墾セザルヤウ取締ルコト、一、土地利用調査委員會ノ如キモノヲ設ケ取締ノ徹底ヲ期スルコト、一、助成法ニ依ル事業者ガ委託スル場合ニハ會社ハ其引受ヲナスコト、此事項ニ付テ衆議院ノ豫算總會ニ於テ政府ハ如何ニ考ヘルカト申シマスルカラシテ、政府ハ之ヲ實行スルカト云フコトデアリマシタカラシテ、政府ニ於キマシテハ、是ハ實行スルコト云フコトヲ明言イタシタノデアリマス、此時ハ偶、農商務大臣ガ病氣ニ罹ッテ出ラレマセヌデゴザイマシテ、私が代ッテ此委員會ニ於テ此通り實行スルト云フコトヲ明言イタシタノデゴザイマス、續イ

テソコデ初メテ此株式會社ナルモノノ實體モ能ク分リ、又開墾助成法トノ關係モ能ク分ツタ、依ッテ更ニ政府ガ此帝國開墾株式會社補助命令中ニ記載スル事項ヲ掲ゲテ、之ヲ條件トシマシテ衆議院ハ此追加案全部ニ賛成ヲセラレタノデアル、其條項ハ、一、會社ノ配當ハ如何ナル場合ニ於テモ年八分ヲ超ユルコトヲ得ザルコト、如何ナル場合ニ於テモ八分ヲ超エザルコト、一、前項ノ配當ヲナシ尙ホ剩アルトキハ既往ニ於ケル資本ノ缺損ニ對スル補給金ヲ返還セシメ、尙ホ剩アルトキハ其剩リ金ニ應ジ開墾地賣拂代金ヲ減額スルコトトシ、其減ズベキ金額ハ各年度ニ於テ政府ノ承諾ヲ經ルコト、一、開墾地ハ自作農タラシムル者、緣故者、又ハ公共團體ノ順位ヲ以テ優先賣渡ヲナスコト、一、前項ノ場合ニ於ケル開墾地ノ賣却價格ハ開墾成功費ノ五割増ニ當ル金額ノ範圍内ニ於テ之ヲ定ムルコト、但シ其他ノ場合ハ政府ノ承認ヲ得テ此標準ニ依ラザルコトヲ得、此前ノ項ト此項ハ此會社ノ主タル目的デアリマシテ、開墾地ハ順位ヲ以テ申シマスルコト、自作農タラシムル者ガ第一、其緣故者即チ次男、三男ト云フ緣故者ガ第二位、第三ガ公共團體、之ニ對シテ優先賣渡ヲナス、此賣渡價格ハ成功費ノ五割増、百圓掛タモノハ百五十圓マデノ範圍ニ於テ賣ル、併シ其三ノ外ノ者ニ賣ル時ニハ政府ノ承認ヲ得テモット高ク賣ッテモ宜イ、斯ウ云フコトニナッテ居ル、一、北海道ハ除外ス、但シ北海道長官ノ要求アルトキハ此ノ限ニ在ラズ、北海道ハ御承知ノ如ク既ニ開墾ノ計畫モ立ッテ、特殊ノ矢張り保護ヲシテ居リマスカラシテ、此會社ハ抑、内地ノ開墾ノ面積ヲ殖ヤサウト云フノガ第一デアリマスカラシテ、北海道ニハ直チニハ及バヌ初メカラノ計畫デゴザイマシタガ、尙ホ北海道ニハ現在左様な獎勵法モアルノデアル、併ナガラ北海道長官ガ此會社ノ働ヲ彼地ヘ要スルモノアリト認メテ請求シタル場合ニハ、會社ハ北海道ニモ其仕事ヲスルト云フコトニモナル、此數項ヲ命令書ニ加ヘルト云フコトニ付テモ亦少シモ政府ノ考ト是ハ變ラヌノデゴザイマス、又發起人等ト話ヲシタ要點デゴザイマスカラシテ、直チニ是ハ同意ヲ致シタノデアリマス、前ノ希望ト言ヒ、此條項ト言ヒ、政府ハ進ンデ之ニ同意ヲ表シテ居ルノデゴザイマス、茲ニ於テ始メテ此開墾助成法ト開墾會社ナルモノノ關係、區別、性質等モ能ク判然ト致シマシテ衆議院ニ於テモ協賛ヲ與ヘラレタノデゴザイマス、何卒諸君ニ於カレマシテモ御審議ノ上ニ御協賛ヲ與ヘラレムニトヲ希望イタシマス

〔若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○若槻禮次郎君 私ハ此帝國開墾株式會社ノ補助ノコトニ付テ質問ヲ致シタイノデアリマス、此會社ノ事柄ニ付テハ農商務大臣ハ別段御説明ナクシテ大藏大臣ガ若ニ御辯明ニナッテ、而モ政府ノ之ヲ計畫セラレタ趣意ヲ述ベラル、コトハ少クシテ、世間ニ向ッテ辯明ヲセラレ、誤解ガアルカラト云ウテ、誤解ニ對スル辯解ニ甚ダ御努メナタノヲ見テモ、ナカ／＼此事柄ニ付テハ疑フベキ事ノ少カラザルモノデアルト云フコトガ分ル次第デアアルノデアリマス、ソレ故ニ私モ此機會ニ於テ自分ノ疑ッテ居ル所數箇條ヲ御尋シタイト存ジマスガ、之ニ付テハ

〔副議長侯爵黑田長成君議長席ニ著ク〕

一箇條毎ニ一々御答辯ヲ承ッテソレヲ十分ニ質シテハ更ニ次ニ移リマス云フト、最モ明瞭スルノデアリマスルケレドモ、會期切迫ノ今日ニ於テ左様なコトヲ致シマスルト非常ナ時間ヲ取リマスカラ、便宜上私ハ自分ノ承リタイ箇條ヲ皆舉ゲテ此處デ伺ッテ置キマスガ故ニ、政府ハ之ニ對スル一ツ一ツニ向ッテ明瞭ニ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス、詳細ニト云フコトハ申上ゲマセヌガ、明瞭ニ御答辯ヲ願ヒタイノデゴザイマス、第一ハ政府ハ今日ノ食糧不足問題ヲ解決スルガ爲ニ耕地ヲ殖シテ、之ニ依ッテ食糧ヲ増加スルト云フ計畫ヲ作ルト云ウテ此度開墾ノコトノ獎勵ノ方策ヲ御立ニナッテ居ルノデアリマス、之ニ付テ政府ハ最初ヨリ開墾助成法ニ依ッテ開墾ヲ獎勵スルコト、帝國開墾株式會社ナルモノヲ設ケテ之ニ特權ヲ與ヘテ開墾ヲセシメルコト、此兩者ヲ以テ開墾ヲシテ食糧ヲ増加スルト云フ政策ヲ實行スルト云フ御考デアッタノデアアルカ否ヤ、私ノ申上ゲルノハ政府ノ開墾獎勵策ナルモノガ、開墾助成法ニ依ッテ開墾セシメルモノト、帝國開墾株式會社ナルモノヲシテ開墾セシメルコトノ二ツノモノニ依ッテ政府ノ方策ヲ實行ナサレルト云フ御考デアッタノデアアルカドウカ、是ガ第一問デアリマス、之ヲ御尋スル所以ノモノハ、サウデハナイ政府ハ開墾助成法ニ依ッテ食糧問題ヲ解決スル考デアッテ、然ル後開墾會社ナルモノヲ造ラウト云フ話ガ出タカラ、更ニ之ニモ賛成シタト云フコトデアリマスルト、政府ノ開墾助成方針ナルモノハ動イテ居ルト云フコトニナルノデアリマス、一定シタ考ニ依ッテ開墾ノ獎勵ヲシ、之ニ依ッテ食糧ノ不足ヲ補フト云フコトデナクシテ、是モヤリカケテ見タ、又アレモヤリカケテ見ルト云フコトデアルト、政府ノ方針ハ一定シテ居ナイト云フコトニナリマスルガ、マサカニサウデハアルマイト思ヒマスガ、政府ニハチャント初メカラ考ガアッ

テ、サウシテ此兩者ニ依ッテ開墾ノ目的ヲ達スルト云フコトデアラウト存ジマスガ、若シサウデアルトスルナラバ、何故ニ總豫算ニ計上シテ開墾助成法ト一緒ニ此事ヲ御出シニナラナカッタノデアルカ、開墾助成法ガ既ニ通過シ、之ニ依ッテ費用ガ總豫算ニナッテ通過シタ後ニナッテカラ、開墾株式會社ナルモノヲ御出シニナルト云フコトハ、ドウモ餘ホド議會ヲ輕ク御覽ニナッテ居ルヤウナ氣味ガスルノデアリマス、至ッテ議會ニ對シテ不親切ナヤリ方ノヤウニ思フノデアリマスルガ、ソコデ政府ハ初メカラ此二者ヲ合セテ方針トセラレタノデアルカ、或ハ其一ツニ依ッテヤル積リデアッタノガ、後カラ事ガ起ッタカラソレモ亦賛成シタト云フヤウニ御方針ヲ御變更ニナッタノデアリマスカ、是ガ一ツノ御尋デアアルノデアリマス、ソレカラ第二ハ開墾助成法ト云フ一ツノ法律ヲ御作リニナッタ以上ハ、會社ヲ造ッテ開墾シヤウト云フ者ノアルナラバ此助成法ニ依ッテ開墾セシメラル、ト云フノデ宜イヤウニ思フノデアリマスルガ、サウデナクシテ更ニ特權會社ヲ造ラウトセラル、ノハドウ云フ譯デアリマスルカ、政府自身ガ開墾助成法ノ效果ヲ疑ッテ御出デニナルノデアルカ、此開墾助成法ト云フモノハ出シタケレドモ、アレハ開墾ノ目的ヲ達セラレヌト斯ウ疑ヲ懷イテ、ソレデ此帝國開墾株式會社ナルモノヲ更ニ造ラウトナサルノデアリマスカ、是ガ第二ノ問デアリマス、ソレデアリマスルト云フト政府自ら提出シテ御作リニナッタ法律ヲ自ら其效果ヲ疑ッテ御出デニナルカ、サウ云フコトデアリマスカ、殊ニ此帝國開墾株式會社ノヤウナモノヲ造リマサルト云フト、唯今大藏大臣ハ此會社ト助成法ニ依ル開墾者トヲ競争セシメナイト仰ッシャルガ日本ニ於テ開クベキ餘地ノアル……開カルベキ土地ト云フモノハ、狹イ日本ノ領土内デアリマスルカラ、大體サウ餘計ハナイデアラウト思ヒマス、ソコデ此會社ニ競争サセスト言ッタ所ガ、更ニ相當ナル所ヲ開墾シヤウト思フナラバ、二者ガ必ズ

〔議長公傳德川家達君議長席ニ復ス〕

同じ方面ニ向ッテ來ルト見ナケレバナリマセヌカラ、斯様ナ大特權會社ヲ許シタナラバ助成法ニ依ル開墾者ト云フ者ハ到底之ト競争スルコトハ出來ヌノデアリマス、其方ノ側ト云フモノハ十分ニ手ヲ伸バスコトガ出來ヌコトニナラウト思ヒマス、サウスルト云フト開墾助成法ヲ作ッテ之ニ依ッテ開墾ヲセシメヤウト政府ハシテ居リナガラ、新ニ斯ウ云フモノヲ御造ニナルト、自分ノ制定セラレタ法律ニ依ッテ仕事ヲシヤウト云フ者ヲ、又後カラ拵ヘタモノデ妨害

スルト云フ譯ニナルノデアリマスルガ、ソレハドウ云フ譯デアリマセウカ、政府ハ一旦開墾助成法ヲ提出セラレタケレドモ其效果ニ對シテハ疑ヲ有ッテ居ラル、ノデアリマスルカドウカ、是ガ第二點デアアルノデアリマス、ソレカラ第三ノ點ハ助成法ニ依ッテ開墾スル場所ト、此會社ガ開墾スル場所トハ方面ガ違ッテ居ルノデアリマスカ、又同じ所デアルカ、私ハ前ニ申上ゲマシタ通りサウ……ハ場所ガアルマイトハ存ジマスルケレドモ、併ナガラ政府ノ御説明ニ依ルト云フト、開墾スベキモノハ大變澤山アル、開墾助成法ニ依ッテハ十五年間ニ二十五万町歩ノ開墾地ヲ得ル目的デアルト云フヤウナ御説明デアルヤウデアリマス、又此開墾株式會社ニ依ッテモ十五年間ニ二十五万町歩ノ耕地ヲ得ルト云フコトデアルト云フコトデアリマス、サウスルト云フト助成法ヲ御出シニナッタトキニハ政府ハ十五年間ニ二十五万町歩ノ土地ヲ開キ、之ニ依ッテ得タ米穀ニ依ッテ日本ノ食糧ハ先ヅ大體ハソレデ充タサレテ居ル、寧ロ後ニ至ルト云フト、幾分餘ッテ行クト云フ御説明デアッタヤウデアリマスガ、其上ニ更ニ又二十五万町歩ヲ開イテ、五十万町歩ヲ開イタナラバ、ソレハ今度大變ニ米穀ノ過剰ヲ生ジテ、非常ニソコニ米價ノ下落スルヤウナコトヲ惹起ス虞ハナイノデアリマスカ、初メハ開墾助成法ニ依ッテ二十五万町歩ヲ開ク積リデアッタガ、此會社ヲ拵ヘテ、開イテ、其起サセルモノヲ若干減ゼシメテ、此會社デアッテ出來タノト、兩方併セテ二十五万町歩作ルト云フ御計畫デアアルノデアルカ、ソレダト云フト食糧ノ不足ヲ之ニ依ッテ充タスト云フ計算ガ略、合ウテ來ルノデアリマスガ、ソレデアアルノデアルカ、サウデナクシテ開墾助成法ニ依ッテモ二十五万町歩ヲ作ル、帝國開墾株式會社ニ依ッテモ二十五万町歩ヲ作ルノデアルト云フコトデアルト、食糧ノ不足トシテソレヲ補ハムトシテ政府ガ御計算ナサレタノガ、倍ニナッテ來ルノデアリマスガ、其點ハドウナルノデアリマセウカ、矢張り倍ニシテ米穀ハ多イ程ガ宜イ、米價ハ下落スル程ガ宜イカラ、ソレ故ニ兩者ニ依ッテ非常ニ開墾地ヲ殖スノダト云フ御考デアアルノデアルカ否ヤ、是ガ第三ニ御尋セムトスル點デアアルノデアリマス、第四ニ御尋ネ致シマスノハ、唯今未墾地トシテ耕地デナイ山林原野トシテ殘ッテ居リマス大キナル土地ト云フモノハ、大抵ハ之ヲ開クニ非常ナ費用ヲ要スル、又開イタ所デ其地味ハ既ニ開ケテ居ル土地ニ較ベテ見レバ、劣ッテ居ルト云フ所ガ今未墾地トシテ殘ッテ居ルノデアリマス、相當ノ地味ノ良イ所デ之ヲ開墾スルニ付テハ、餘リ費用ヲ掛ケンデ宜シイ所ハ、今マデニ既ニ開ケテ居ルノ

デアリマス、今開ケナクテ残ッテ居ル所ト云フノハ何處デアルカ、是ハ之ヲ開
墾スルニ付テ非常ナ費用ヲ要シテ、開イタ所デ其地味ハ割合ニ劣ッテ居ルト云
フ所ガ残ッテ居ル所デアリマス、サウ云フ所ヲ是カラ開イテ行カウト云フ此
開墾會社デアリマスカラ、此開墾會社ノ事業ニハ非常ナ危險ガ伴ッテ居リマ
ス、餘程冒險的ノ事業デ是ハアルノデアリマス、ヤリ懸ケテスラワト一筋ニ行
カンデ、其間ニ色々天災等ニ因ッテ折角投ジタ金ハ丸デ流レテシマッテ、失ッテ
シマッタト云フヤウナコトガ屢々生ズルヤウナ虞ノアル所ヲ、此開墾會社ナル
モノハ開イテ行カネバナラヌノデアリマスガ、左様ナ大キナ危險ノアルノニ
對シテ政府ハ此危險ヲ負擔スルト云フコトデアアルノデアリマス、多クノ例ヲ
舉ゲマセヌガ、唯一ツノ例ヲ舉ゲマスト、宮城縣ニ品井沼ト云フ沼ガアル其水
ヲ河ニ落シテ水ヲ干スト云フト、沿岸ニ澤山ノ耕地ガ出來ルト云ウテ、宮城縣
デ品井沼ノ開墾ト云ヒマスカ何ト云ヒマスカ、サウ云フ計畫ヲサレタノデア
リマスガ、一度ヤッテモ旨ク行カズ再ビヤッテモ旨ク行カスト云フヤウナ譯デ、
其間ニ非常ナ金ヲ失ハレタヤウナコトモ我々ガ是マデ見テ居ル何デアアルノデ
アリマス、斯ウ云フヤウナ所カラ此帝國開墾株式會社ト云フノガ、是カラヤッ
テ行カウト云フノデアリマスカラ、是ニハ非常ナ危險ガ伴ッテ居ル、所ガ今回
ハ會社ニ損ガアッタラ總テ政府ガ之ヲ埋メテヤル、其埋メタ上ニ尙ホ八分ノ利
息ヲヤルト、斯ウ云フノデアリマスカラ、總テノ危險ノ負擔ハ政府ニ歸スル
ノデアリマス、總テノ危險ノ負擔ハ國民ニ歸スルノデアアル、危險ガアッテ會社
ガ損ヲシタラバ國民ノ膏血ヲ搾ッテ租稅デ以テ皆之ヲ補ッテ行カナケレバナラ
ス、而シテ尙ホ八分ノ利息ヲ會社ニ給與スルノデアリマスガ、何故ニ國民ノ
膏血ヲ搾ッテマデ此冒險的ノ事業ノ尻拭ヲシナケレバナラヌ必要ガアルノデ
アリマスカ、此點ニ付テドウ云フ譯デ國民ガ左様ナ危險マデモ負擔シナケレ
バナラヌカト云フニ付テ、政府ノ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス、第五
ニ御尋スル點ハ、大體ニ於テ危險ノ負擔アル會社ナラバ餘計ニ補助ヲシテモ
宜シイ、危險ノ負擔ノ無イ會社ナラバ補助ヲ少クヤッテ宜シイト云フノガドウ
モ我々ハ道理デアラウト思ヒマス、然ルニ此會社ハ損ガアッタラ政府ガ尻拭ヲ
シテヤルト云フノデアリマスカラ一面危險ノ負擔ハナイノデアリマス、其危
險ノ負擔ノ無イ帝國開墾株式會社ハ八分ト云フ非常ナ澤山ナ補助ヲ貰フコト
ニナッテ居ッテ、而シテ助成法ニ依ッテ開墾スル者ハ危險ノ負擔ハ開墾者ニ在
ルノデアリマス、ドンナ損ヲシテモ之ニ向ッテ政府ハ補ッテ呉レナイ、唯六分シ

カ給與セスト云フノデアリマス、此危險ノ負擔ノアル者ニ却ッテ六分ト云フ
少ナイ給與ヲ與ヘラレルト云フノハドウ云フ譯デアアルカ、危險ノ負擔ノアル
モノニハ餘計ノ給與ヲスル、危險ノ負擔ノナイモノニ少クスルト云フナラバ、
我々ガ普通ニ考ヘル所ニ能ク合ヒマスガ、今回ノ政府ノ提案ハ、全然危險ノ
負擔ノ無イ會社ニ向ッテハ八分ノ補助ヲスル、而シテ危險ノ負擔ノ十分ニアル
開墾助成法ニ依ル個人若クハ會社ノ開墾者ニ對シテハ六分ノ給與ヲスルト云
フコトデ、我々ガ普通ニ考ヘマス事柄ノ丁度反對ニナッテ居ルノデアリマス
ガ、此點ハドウ云フ譯デ斯ウ云フヤウナ反對ニナル譯デアリマスカト云フコ
トヲ御尋シタイノデアリマス、尙ホ第六トシテ同ジヤウナコトデアリマスカ
レドモ、事柄ヲ違ヘテモウ一遍御尋シテ見タイノデアリマスガ、會社ノ發起人
ニナッテ居ラレル者ハ、富豪ト言ハレテ居ル御方、デアアルノデアリマス、開墾
助成法ニ依ッテ開墾スル人ハ小資本ノ人デアラウト大體ニ於テ思フノデアリ
マス、中ニハ金ヲ有ッテ居ル人モ無論アリマセウケレドモ、五町歩、十町歩ヲ
開墾スルヤウナ人ハ、是ハドツチカト云フト小資本ノ人ガ多イノデアラウト思
ヒマス、世間デ富豪ト稱ヘテ居ルヤウナ人ハ、拵ヘル會社ニ向ッテハ八分ノ補
給ヲスル、危險ノ負擔ヲシタ上ニ八分ノ補助ヲスル、小資本ノ人ニ對シテハ
唯六分ノ給與ヲスル、而モ危險ノ負擔ト云フ事柄ハ無イ、サウ云フコトニナッ
テ參リマスガ、此點ハ又如何ナル譯デ斯様ニナルノデアリマスカ、私共ノ考
デハ小資本者ニ向ッテ餘計ノ給與ヲ與ヘ所謂富豪ナル者ハ反對ニ幾ラカ給與
額ガ少クテモ宜イデヤナイカ、是モ亦普通ニ考ヘルト左様ニ考ヘラレマスガ、
ソレガ又反對ニナッテ居ルノハ如何ナル譯デアリマセウカ、ソレカラ第七トシ
テハ危險ハ政府ガ負擔スル、配當ハ必ズ八分ヲスル斯ウ云フコトデアリマス
ト、此會社ハ洵ニ樂ナ會社デアアルノデアリマス、餘リ働カンデ居ッテ餘リ儲ケ
ガ無クテモ、皆ソレハ政府ガ出シテ呉レルノデアアルト云フコトデアリマスガ
ラ、洵ニ樂ナ會社デアリマシテ、而シテ必ズ八分ダケノ配當ハ得ラレルト云フ
ノデアリマスカラ、八分ノ公債證書ヲ有ッタト同ジニトデアリマス、ケレドモ
是ハ義務ヲ帶ビテ居ルモノハ國デアリマス、洵ニソレハ信用ノアルベキ人デ
アル、ソレガ必ズ八分ノ補助金ヲ呉レルト云フノデアリマスカラ、此會社ナル
モノハ八分ノ利息ノ付ク公債證書ヲ持ッタト同ジコトデアリマス、所ガサウ云
フコトヲ爲サレルナラバ、何故政府自身此開墾ヲ爲サラスノデアリマスカ、政
府自身開墾ヲ爲サレルナラバ、人ノ仕事ノ尻拭デナク、自分自身ガ十分注意ス

ルノデアリマスカラ、間違ナイヤウニ十分初メカラ計畫スレバ實行スルコトモ出來ルノデアアル、而シテ其資金ハ政府ガ公債ヲ募集セラルレバ今日ハ六分二三厘ノ利廻ニ當レバ、政府ハ公債募集ガ出來ルト思ヒマス、六分二三厘デ株ヲ募集シテ金ヲ借りテ、サウシテ此開墾ヲ政府デナサル、ナラバ、其方ガ却ツテ國庫ニ取ツテハ利益ニナルノデアリマス、危險ヲ負擔シテ其上ニ八分ヲ拂フ代リニ、危險ヲ負擔シテ六分二三厘デ濟ムト云フコトデアレバ、其方ガ政府ニ取ツテ得ナ筈デアリマスガ、ソレヲ何故政府ハ自身ニ開墾ヲセズシテ斯様ノ特權會社ヲ造ツテ之ニ依ツテ開墾ヲセシメテ、而モ自分自ラ支出セラレルヨリハ、自分自ラナサレルヨリモ餘計ナ金ヲ出サレルト云フコトデアアルカラ、左様ナ不利益ナコトヲ何故ナサレルノデアアルカ、是ガ一箇條デアリマスソレカラ第八トシテハ唯今大藏大臣ノ御説明ヲ伺フト云フト、衆議院ノ注文ニ依ツテ此帝國株式會社ハ開墾助成法ニ依ツテ開墾スル者ノ事業ヲ請負フコトヲヤツテ貰ヒタイト云フコトデ、政府モソレヲ承諾ヲシタト言フコトヲ御話ニナリマシタガ、ソコデ私ガ御尋シナケレバナラス、損益トモ自分デ負ハナケレバナラス、損ガアレバ之ヲ自分デ支辨シナケレバナラナカッタノデアアル、然ルニ此人ガ此帝國開墾株式會社ニ事業ヲ頼ムト云フト、頼ム時ニハ非常ニ損ニナルヤウナ頼ミ方ヲスル請負ハアリマセヌカラ、相當ノ費用デ會社ハ請負フニ相違アリマセヌ、開墾スル人ハ政府カラ六分ノ金ヲ貰ツテ、サウシテ請負フ金額ハ極ツテ居ルノデアリマスカラ、ソレヨリ以上開墾者ハ費用ハ増スコトハナイノデアリマス、之ヲ取受ケタ帝國開墾株式會社ハソレニ付テ或ハ天災ニ出會フコトガアルカモ知レマセヌ、或ハヤリ方ガ拙クテ費用ガ餘計掛カルコトガアルカモ知レマセヌ、ソレヲ請負ッタノデアアルカラ開墾スル者カラ取ルコトハ出來ヌカラ、ソレハ皆自分ノ損ニナル、其自分ノ損ニナルト云フノハソレハ誰ガヤルカト云フト政府ガ結末ヲ付ケテ尻拭ヲシテ呉レルノデアアル、サウスルト開墾助成法ニ依ツテ開墾スル者ハ其儘デアルト損ヲスルトキニ自分デ損ヲシナケレバナラスガ、帝國開墾株式會社ニ頼ンデ仕舞ヘバ自分ノ負擔スベキ危險ヲ帝國開墾株式會社ニ移シテ仕舞フ、此株式會社ハ其負擔ヲ政府ニ移シテ仕舞フ、開墾助成法ニ依ツテ開墾スル人ハ危險ノ負擔ヲ間接ニ政府ニ移シテ仕舞フノデアリマスガ、ソレデ宜イト云フ御考デアリマスガ、ソレナラバ何故開墾スル者ニ初メカラ危險モ負擔シテヤルト仰ッシヤラナイノデアアル

カ、其分ハ六分デ打切ツテ間接ニ矢張り危險ヲ負擔スルヤウニ、此會社デ以テナサレルト云フコトハ、ドウ云フ譯デアリマスガ、之ニ付テ御尋ヲシタイ、第九トシテハ農商務大臣ハ衆議院デ御説明ヲナサレル時ニ、開墾助成法ノ御説明ヲナサレル時ニ、大キナ開墾地ハ成ルベク公共團體ヲシテ之ヲ實行サセラル方針デアルト云フコトヲ言ウテ居ラレルノデアアル、是ハ私共宜シカラウト思ヒマス、大キイ所ヲ小サイモノニ任セラレルヨリ公共團體ガ大キイ所ヲヤルト云フコトデ、而シテ知識モ十分集メ資金モ相當ニ集メテ、サウシテ公共團體ガ多クノ開墾ヲシテ、之ニ依ツテ得タ所ノ土地ヲ自ラ持ツナリ或ハ之ヲ其公共團體ノ内ノ人ニ相當ノ値段デ讓ツテヤルト云フコトニナレバ誠ニ結構ナコトデゴザイマスカラ、開墾助成法ノ説明ニ於テ農商務大臣ガ言明セラレタコトハ私共誠ニ相當ノコトト思ヒマスガ、ソコヘ帝國開墾株式會社ヲ御造ニナルト、其事ガ九デ破レテ仕舞フノデアリマス、大キイ所ガ之ヲヤルト云フコトニナルカラ公共團體ヲシテヤラシメルト云フ御方針ハ開墾會社ノ設立ニ依ツテ九デ之ヲ破ツテ仕舞フト云フコトニナルト思ヒマスガ、農商務大臣ハ左様ニ御考ニナラスノデアリマセウカドウデスカ、之ヲ伺ツテ見タイ、ソレカラ未墾地ノ澤山殘ツテ居リマスル所ハ是ハドツチカト云フト人口ガ少イ所ニ在ルノデアリマス、勢力ノ少イ地方デアアルノデアリマス、此帝國開墾會社ナルモノハ何處カラ労働者ヲ求メテ來テ開墾スルト云フ御考デアリマスガ、都會ニ出テ居ル者ヲ引戻シテ、農村ニ歸農セシメルガ爲ニ都會カラ労働者ヲ引張ツテ來ルト云フ御考デアリマスガ、若シサウデアルトスレバ、大變勞銀ガ高イモノニナラウト思ヒマス、隨ツテ此會社ノ經費ハ大變多大ナモノニナルト思ヒマスガ、會社トシテハソレデモ宜イノデアリマスガ、總テ損ガアレバ政府ニ持掛ケテ開墾ガ出來ルノデアリマスケレドモ、サウ云フヤウナ事ヲシタナラバ國庫負擔ト云フモノハ非常ナコトニナラウト思ヒマスガ、サウナサル御考デアリマスガ、サウデアレバ矢張り相當ニ農村ニ居ツテ農作ノコトニ馴レテ居ル労働者ヲ連レテ來テヤラセル御考デアリマスガ、ソレデアルトスレバ今日ハ日本ノ全國ノ地方ニ於テモ農業勞力ト云フモノハドツチカト云フト缺乏シテ居ル方デアアル、耕作人ナドガ少クテ隨分困ルト云フヤウナコトハ、是ハ全國何レノ地方ニ於テモ聞ク所ノ話デアリマスガ、サウ云フ方面カラ人ヲ吸收シテ此開墾會社ニ連レテ行クト云フコトニナリマス、全國各地方ノ農村ニ於テハ農業勞力ガ減ズル、耕作人ガ減ズルト云フコトデ餘程困ルトコトガ起

リハセヌカト思ヒマスガ、ソレハドウ云フヤウニシテ兩者ヲ調和スルト云フ考デアリマスガ、ソレヲ伺ッテ見タイノデアリマス、ソレカラ其次ニ此會社ハ出來タ土地ヲ廉ク賣ル、殆ド元價デ賣ル、元價ニ五割ヲ加ヘタモノデ賣ルト云フヤウナ御説明デアリマスガ、左様ニナリマスルト其帝國開墾株式會社ガ開墾シマシタ土地ノ近傍ニ在ル土地ト云フモノハ、今デハ相當ノ値段ニナッテ居ルガ、其隣カラ大變廉イ田地ナリ畑ナリ賣出スト云フコトニナルト、近隣ノ地主ハ自分ノ持ッテ居ル地ガ非常ニ下ガルト思フ、即チ個人ノ財産額ガ非常ニ減少スルト思ヒマスガ、其點ニ付テハソレガ土地ガ廉クナッテ宜イト云フ考デアサウヤラセル積リデアルト云フ政府ノ御考デアルカ、或ハサウ個人ニ迷惑ヲ掛ケテハナラナイカラサウシナイト云フ御考デアルカ、ソレナラバ廉賣ト云フコトハドウシテ他ノ地主ノ迷惑ト云フコトトノ調和ヲ御取ニナル考デアリマスガ、是ガ御質問スル一箇條デアリマス、最後ニ御尋ネ致シタイノハ、此會社ノ開墾スルノハドウ云フ所デアリマセウカ、凡ソ會社ヲ造ラレル以上ハ凡ソ見當ガアッテ、何所デ開墾スルト云フ所ガナクテハナラナイ、九デ當ナシノ會社ヲ造ルト云フコトハ無イ筈デアリマスカラ、ドウ云フ方面ノ開墾デア

ルカト云フコトハ、既ニ頭ノ中ニ出來テ居ッテ、サウシテ會社ノ計畫ニナッテコトト思ヒマスガ、ソレハ何處何處デアルカト云フコトヲ伺ヒタイノデアアル、殊ニ其開墾スル土地ノ中ニハ山林、原野デ所謂傾斜地トナッテ居ル所ヲ多ク含ンデ居ル所ガアリハシナイカ、ドウカト云フコトヲ御尋シタイノデアリマス、御承知ノ通り日本ノ水害ト云フモノハ是ハ固ヨリ降雨ガ多イト云フコトガ重デアリマスルケレドモ、是ト共ニ傾斜地ニ樹木ガナイ爲ニ雨ガ降ルト土壤ガ崩壊シテ來ルト云フコトガ、日本ノ水害ニ非常ナ慘害ヲ増加スル所以ニナッテ居リマス、明治四十三年ニ關東ニハ非常ナ洪水ガアリマシタガ、其他山梨縣ナドノ水害ノ悲惨ナ狀況ト云フモノハ夥シイモノデアリマシタガ、其水害ノ悲惨ナル狀況ヲ呈シタ一ツガ、山梨縣ハ山ノズツ傾斜地ノ高イ所ニ開墾シタト云フ事柄ガ、此水害ノ害ヲ多クシタ一ツノ原因ニナッテ居ルノデアリマス、其後政府デ治水調査會ヲ設ケテ色々調査シタノデアリマスガ、サウ云フ専門家ノ集ッタ會ニ於テモ矢張り其事ハ認メラレテ居ルノデアリマス、然ルニ此帝國開墾株式會社ガ大袈裟ニ、而シテ政府カラ後ノ始末ハ付ケテヤルト云フコトデ、而カモ八分ノ補給ヲ與ヘテ大袈裟ニ開墾ヲシテ參ルノデアリマシタガ、是ガ若シ傾斜地ノ開墾ナドヲシテ日本ノ水害ヲ今一層悲惨ナ狀況ヲ呈セ

シムルヤウナコトデモアッタラバ、國家ノ一方ニ於テ食糧問題ヲ解決シナガラ一方ニ於テ食糧問題ヲ破壞スルト云フコトニナルノデアリマスガ、此點ニ付テハ政府ハ如何ナル考ヲ有ッテ御出ニナルノデアアルカ、此十二ノ事項ニ付テ簡單デ宜シウゴザイマス、但シ明瞭ニ我々ニ了解ノ行クヤウニ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス

〔國務大臣男爵高橋是清君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵高橋是清君) 唯今若槻君ノ御質問ニ對シマシテハ、私ガ先刻申上ゲマシタ通り、衆議院ノ希望條件等ニ付テ答辯又ハ言明ノ任ニ當リマシタ故ニ、便宜上私ヨリ御答ヲ致シマス、第一ノ御尋ハ開墾助成法ト此會社トニ付テ政府ハ一定ノ方針ヲ初メヨリ立テタモノデアアルヤ否ヤト云フコトガ重ナル點ト考ヘマス、此開墾助成法ハ先刻モ既ニ申シマシタ通り、政府ノ目的ハ主トシテ、食糧問題ノ解決ニ在ッタノデゴザイマス、之ニ依ッテ主トシテ米麥ノ產額ヲ増加シヤウト云フ目的デアッタノデゴザイマス、而シテ是デ政府ハ足レリトハシナカッタノデアリマス、開墾助成法ト雖モデス、此開墾シタモノガ必ズ米麥ト限ッテ作ルヤ否ヤハ疑問デゴザイマス、政府ノ希望ハソコニ在リマス、併ナガラ先ヅ主トシテ米麥ヲ多クシヤト云フノガ政府ノ希望デゴザイマス、政府ハ是ト同時ニ總テノ農產物資ノ我國ニ缺乏シテ居ルト云フコトヲ深ク感ジテ居ルノデゴザイマス、此農產物ノ總テノ種類ノ缺乏ハ延イテ製造工業ノ原料ニ不足ヲ告ゲルコトニナルノデアリマス、土地ヨリ生ズルモノハ申ス迄モナク、葉ヲ主トスルモノアリ、幹ヲ主トスルモノアリ、根ヲ主トスルモノアリ、織物ノ如キ纖維物ニ至リマシテハ、或ハ紙ノ原料ニシマシテモ、或ハ工業ニ用ヒマス澱粉ノ如キモノニ至リマシテモ、總テ農產物ノ豐ナル國ガ製造工業ノ原料ヲ廉ク得ラレルノデアリマス、殊ニ養蠶ノ如キハ御承知ノ通り今日我國ニ於テ三億、四億ノ金ヲ海外ヨリ取ッテ來ル所ノ生絲ノ本タル桑ノ畑ニ至ッテハ僅ニ五十万町歩ホカナイノデアリマス、先刻申シマシタ通り人口ト面積トヲ考ヘマスト云フト如何ニモ開墾地ハ我國ニ於テハ少イノデアリマス、僅ニ一割五分ニホカ當ッテ居ラスノデアリマス、其考ヲ政府ガ有ッテ居リマシタ所ニ、國デヤルガ宜イカ會社ニヤラセルガ宜イカト云フコトモ考慮シテ居ッタノデアリマス、併ナガラ會社、民間デヤル者ガナケレバ或ハ國デヤラネバナラスカモ知レナイノデアリマス、其位必要ヲ感ジテ居ルノデアリマス、併シ成ルベクハ民間ノ事業トシタ方ガ官營ヨリ總テノ點ニ於テ經濟

的且ツ結果ノ宜シイコトハ諸君ノ御承知ノ通りデアアルノデス、ソレニ先刻申シマシタル通り東北振興會、國產獎勵會ノ方カラ其計畫ガ出マシタノデ、政府ハ是ハ誠ニ國家ノ爲ニ必要ナル計畫トシテ之ヲ成立タセタイト云フ考ヲ起シテ出シタノデアリマシテ、必ズ一定ノ方針ニ出ナカタト云フ譯デハナイノデス、開墾助成法ノミヲ以テ足レリトハシテ居ラナカッタ、他ノ總テ農産物ヲ殖スト云フコトハ今日必要ナノデアリマス、製造工業ノ原料ニ至ルマデ其缺陷ヲ補フ爲ノ計畫デアリマスルガ故ニ、兩々相俟ッテ國益ヲ興スモノナリト信ジテ居ルノデ、民間ニヤラセルト云フコトハ國ガヤルヨリハ、第一適所ニ適材ヲ用ヒルト云フコトハ民間ノ事業ノ方ガ遙ニ政府ノ仕事ニ優ッテ居ルト云フコトハ事實ガ證明シテ居ル、又仕事ヲ爲スニ當ッテ政府ガ命令のニ其土地ニ向ッテ地方人民ニ臨ムヨリハ會社ノ方ガ矢張り滋味ヲ持チ柔ク當ルト云フコトモハ事實ノ話デゴザイマス、殊ニ是ガ經濟的ニ運バレルト云フコトハ官營ノ法規ニ依ッテ拘束セラレテ居ルモノヨリハ民間ノ事業トシテヤル方ガ經濟的ニ行クト云フコトハ明ナコトデアリマス故ニ、成ルベクハ民間ノ企業トシテ此事ヲ遂ゲサセタイト云フ考ヲ有ッテ居ッタノデゴザイマス、併シ左様なモノガナケレバ或ハ國ガヤラナケレバナラヌト云フ羽目ニ陷ツタカモ知レマセス、幸ニ斯ノ如キ計畫ガ民間ニ起ッタノデアリマスルカラシテ、政府ハ是ハ國家ノ爲ニ得策ナリトシテ協賛ヲ仰クニ至ッタノデゴザイマス、第二ハ助成法ノ效果ヲ疑フノカ、此大ナル特權ヲ有ッテ居ル會社ヲ起シテ却ッテ助成法ノ妨ニナル、助成法ノミデハ其效果ガ舉ラヌト云フ疑ガアッテ斯ノ如キ大特權ヲ與ヘル所ノ會社ヲ起スノカト、其結果ハ競争ノ憂ガアッテ、遂ニハ助成法ノ效果ヲ妨ゲルコトニナリハセヌカト云フノガ御尋ノ要點ト考ヘマスルガ、是ハ先刻申上ゲマシタ通り、衆議院ニ於キマシテモ政府ガ言明シマシタ通り、個人乃至法人ノ開墾助成法ニ依リテ開墾セムトスル者ハ競争スルコトヲ許サザルコト、仕事ヲセムトスル場合ニハ政府ノ認可ヲ受ケナケレバ手ハ著ケラレスノデアリマス、故ニ其競争ノ憂ハ確ニ無イノデアリマス、又決シテ此會社ヲ起シマスニハ、助成法ノ效果ヲ疑ッテ起シタ譯デハナイ、尙ホ一層開墾ノ目的ヲ達セシムルニ效果アリトコソ信ズレ、決シテ助成法ノ效果ヲ疑フ次第デハゴザイマセヌ、第二ハ政府ハ助成法案ヲ出ス時ニ二十五万町歩ノ開墾地ヲ造ルト、斯ウ云フコトデアアルガ、更ニ此帝國開墾會社ヲシテ二十五万町歩ヲ開墾セシメルト云フコトハ、同じ二十五万町歩ヲ兩方相俟ッテヤラセルノカ、或ハ

別々ニ二十五万町歩ヅ、雙方出來上レバ五十万町歩ニナルノカト云フ御疑ト考ヘル、是ハ即チ政府ノ目的トシテハ、開墾助成法ノ目的トシテ二十五万町歩、更ニ別ニ此開墾會社ノ働ニ依ッテ二十五万町歩、斯ウ云フ目的デゴザイマスルカラシテ合計五十万町歩ニナル次第デゴザイマス、サウナレバ米ガ剩ッテ困ルデハナイカト云フ御不審デアリマスルケレドモ、先刻カラ申シマスル通り開墾助成法ニ依ッテ開墾スルモノモ必ズ米麥ニ限ラズ、況ヤ開墾會社ニ對シテ望ム所ノモノハアラユル農産物、總テノ物資ヲ豐富ナラシムルガ目的デアリマスカラシテ、雙方ノモノハ必ズ米麥ニ限ッテ作ルト云フ譯デハナイ、又サウ云フコトハ實際開墾助成法ニ依ッテ開墾スル者ト雖モ、作物ニ制限ガ有ッテハ爲シ能ハザル場合ガ多アルノデ、政府ノ希望ハ米ヲ作ル、麥ヲ作ルト云フニ在リマシテモ、或ハ其所ニ麻ヲ植エル、或ハ秣ヲ作ルトカ、或ハ根ノ物ヲ採ルトカ云フヤウナコトデアアル、其地味、氣候、其人ノ趣味ニ依ッテ、作物ガ極ッテ來ルノデアリマス、然ラバ我國ニ於テ農産物ハ米麥ヲ除外ハ他ノ物料物資ノ缺乏ト云フコトヲ著シク感ジテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、左様ナ次第デゴザイマスカラシテ、此二ツノモノガ十分ニ效果ヲ奏シマシタ所デ決シテ食糧過剰ニ苦シムト云フヤウナ憂ハナイト政府ハ信ジテ居ルノデアリマス、第四ノ御尋ハ今日我國ノ未墾地トナッテ居ルモノハ最早人力ニ依ッテ手ヲ盡シテモ計算上引合ハナイト云フヤウナ所ガ殘ッテ居ルノデアアル、苟モ手ヲ著ケテ收支償フヤウナ見込ノアル土地ハ既ニ開墾シ盡サレテ居ル、然ラバ殘ッテ居ルモノハ、地味ノ誠ニ瘦セテ居ルモノガ殘ッテ居ルノデアアル、斯様なモノニ手ヲ下サセルト云フコトハ危險ガ多イ、斯ウ云フ危險ガ多イ、例ヘバ宮城縣品井沼ノ如キ、ア、云フ失敗モアル、第五モ矢張り危險ニ付テ御話デスカラ、第四、第五ニ付テハ併セテ御答イタシマスルガ、成ルホド内海ナドヲ船ニ乗ッテ左右ヲ見マスト、殆ド山ノ頂邊マデ耕作シテ居ル狀態デアリマシテ、如何ニモ我國ニ於テハ收支償フヤウナ土地ニ付テハ既ニ開墾ノ盡サレテ居ル、此上開墾ハ殆ド收支償ハヌト云フヤウナ所ニノミ在ルト云フ所見ハ、サウ云フ考ヲ起ス人ハ随分多イノデアアル、ケレドモ今日二百万町歩カラノモノガ開墾シ得ベキ、開墾シテマダ收支償フベキ所ノモノガ二百万町歩カラ殘ッテ居ルノデアアル、況ヤ此會社ノ如キ機械等ヲ以テ、水ノ無イ所ニ水ヲ引上ゲタリスルト云フヤウナコトヲ致シタリスレバ、即チ大資本、大機械ノ

働ニ依ッテナシマスレバ、今日人力ニ依ッテ二百万町歩開墾シ得ベキ土地ハ更ニ増ス譯デアル、危険ト云フコトハ先刻モ此衆議院ニ明言シタト申上ゲマシタ中ニ、天災其他ノ事由ニ因リ損失ヲ招ク憂アル地區ヲ開墾セザルヤウ取締ルト云フコトガアルノデアル、初メヨリ危険ナリト考ヘラレルモノハ無論ノ話デアリマスガ、是ハ品井沼ノ失敗ニシロ、能ク失敗ハ開墾上ニ於テ聞クコトデアリマスルガ、是ハ何レモ初メノ設計ガ誤ッタ、或ハ途中ニシテ資本ノ不足ナルガ爲ニ十分ノ工事ヲ施サナカッタト云フコトガ主ナル原因デアリマス、就中此金ヲ入レコトノ少カッタト云フコトガ、斯様ナ事ノ失敗ノ大ナル原因ニナッテ居ルノデアル、何レノ國デモ……且又開墾會社ヲシテ開墾セシメル土地ノ選定ニ付キマシテハ、先刻モ申シマシタ通り、愈是ガ成立チマスレバ、官民ヲ問ハズ、相當ノ知識經驗ノアル者ヲ集メテ土地利用調査局トカ、土地利用調査委員會ト云フヤウナモノヲ設ケテ、何レサウ云フ特殊ノ機關ヲ設ケマシテ、サウシテ土地ノ選擇、設計ノ如何ト云フコトニ付テ十分ニ攻究ヲ致シテ、會社ニ命令ヲスルノデゴザイマスレバ、唯今若槻君ノ仰セラレタル如ク何デモ危険ナ事ヲヤッテ、其危険ハ皆ナ國ガ負擔シナケレバナラス、租稅支辨シナケレバナラスト云フコトハ、或ハ杞憂ニ屬シハシナイカト存ジマス、ソレト第五ニ於テ寧ロ此助成法ニ依ッテ開墾スル所ノ小資本家ノ方ガ危険ガ多イデハナイカ、會社ハ仕事ヲヤッテ萬一危険ノ爲ニ損失ヲ生ズレバ政府ハ之ヲ補助シテ呉レルノダカラシテ、會社ニハ其危険ガ無イ却ッテ開墾助成法ニ依ッテ仕事ヲスル人ハ危険ガ多イデハナイカ、其危険ノ多イ者ニ六朱ノ補助デ、何故ニ危険ノ無イ所ノ會社ニ向ッテ八朱ノ補助ヲスルカト云フコトモ、是モ大體先刻ノ説明ノ中ニ觸レテ居ルコトデアリマスガ、開墾助成法ニ依ッテ開墾ヲナサムト欲スル者ハ自ラ自由ノ意思ニ依ッテ發動スルモノデアアル、而シテ是ガ衆議院ノ修正ニ依ッテ補助ノ利ヲ返還セヌト云フコトニナリマス、又當院ニ於テ其通りニ御決議ニナリマシタ、遣リ切りニナル、是ハ七年、補助ヲ貰ヒマス云フト、聽テ其工費ノ四割乃至五割ト云フモノヲ貰フコトニナル、此會社ノ八朱ト云フモノハ先刻若槻君モ御述ニナッタ通り、割合ノ好イ公債ヲ有ッテ居ルノト同ジト云フ、其通りデアリマス、今日世間ニ於テ或ハ工業會社、製造會社等ノ新ナル仕事ノ起ル場合ニ於テ、進ンデ株ヲ有ツ資本家ハデス、若シ其會社ノ配當ガ將來永ク八朱ニ止マルノダト云フコトデアッタナラバ、決シテ多數ノ應募者ヲ見ル譯ニハ行カナイノデアリマス、又過去ノ事實ニ徴シ

マシテモ、十五年間繼續シタ事業ハデス、最初ノ株主ノ打算ニ依リマシテハ必ズ拂込シタ株ノ二倍、三倍ニナッテ居ル位ノ利益ヲ擧ゲルノデアリマス、中途ニシテ増資ヲシマシタリ配當モ段々殖エテ行ク、左様ナ次第デ以テ苟モ此事業會社ノ株主タル者ハ十五年モ其事業ガ繼續シテ行ッタモノナラバ、通ジテ八朱ドコロデハナク數倍ニナル、然ルニ此會社ハ營利ヲ目的トセヌト云フノデアリマスルカラシテ、初メニ拂込シタル株券ヲ十五年ノ末ニ至ッテ殆ド元ノ金ヲ以テ引下ガル、其間安全ニ八朱ノ利益ガ得ラルト云フノデ、隨分今日ハ特殊銀行ノ債券ナリ、或ハ支那ノ公債ナリ、或ハ事業會社ノ債券ナリ、十五年ヲ以テズト八朱ニ當ルヤウナモノハ少カラヌノデアリマス、併シ斯様ナ一定ノ利益ヨリ得ラレヌモノニ對シテハ世間之ニ應募スル者ハ比較的ニ少イノデアリマス、先ヅ世ノ中ハ將來見込ガアル、將來若シ配當ガ殖エル、株モ高クナルト云フヤウナモノニ向ッテ放資スル者ガ多イノデアリマス、ソレ故ニ廣ク全國ニ互ッテ此株ヲ募ルニ當ッテモ、多少割合ノ宜イ公債トカ、債券ヲ持ット云フヤウナ考ノ人デナケレバ之ニ這入ル者ハナイノデアリマスルカラシテ、今日ノ場合ニ八朱ハ不當デナイト政府ハ考ヘマス、御承知ノ通り政府ノ公債ノ如キモノモ三年乃至五年以上ノ長期ノモノハ今日募集スルコトハ困難デアリマス、左様ナ場合ニ於テ十五年間金ヲ寢カサセル、將來八朱ヨリ外ニ何等利益ノ望ノナイモノニ向ッテ放資ヲサセルノデアリマスルカラシテ、今日ノ狀態ニ於テ八朱ハ過當ナラズト政府ハ信ズルノデアリマス、ソレ故ニ前ノ六朱ト此八朱トハ九デ性質ガ違フノデアリマス、性質ノ違ッタモノニ補助ヲスルノデアッテ、同一ノモノニ補助ヲスルノデハナイノデアリマス、ソコノ所ノ區別ヲ御判斷下スッタナラバ、其譯ハ能ク分ルコトデアラウト思フノデアリマス、丁度第六モ今ノ歩合等ニ關シテ居ッテ同ジコトノヤウニ私ハ考ヘマスルガ、即チ富豪ニ八朱ヲヤッテ小資本家ニ……五町歩以上ノ小資本家ニ六朱ヤルノハ間違ッテ居ル、此會社ハ働カナクトモ八朱ハ默ッテ取レルト云フ樂ナ會社デアルト云フコトデアリマスルケレドモ、是ハ決シテ拂込金ニ對シテ八朱ノ配當ヲ政府カラ貰ッテ唯働カズニ居ルト云フコトハ、政府ガ監督上決シテ許サヌコトデアアル、又會社ノ設立者モ左様ナ考ハナイノデアリマス、政府ノ命令スル所ニ從ッテ働カナケレバナラスノデアリマス、又五町歩以上ハ小資本家ト仰ッシャイマスルガ、此開墾會社ニ依ッテ土地ヲ拂下ゲルト云フ主タル目的ハ自作農……自作農ト申スノハ或ハ一町歩トカ二町歩トカガ精々デゴザイマス、

決シテ此開墾助成法ニ依ッテ開墾地ヲ持テ得ナイ所ノ人デアリマス、此自作農家ニ是カラ成ラウト云フノハ五町歩以上ノ自ラ開墾スル土地ヲ有ッテ居ル者ハ、是ハ殆ど中農以上ニ歸スル、自作農ト云フモノハ所謂俗ニ云フ五段百姓ト申シマス、自分ノ一族ヲ以テ勞働シテサウシテ土地カラノ收穫ヲ得ル、其ノ一族ノ勞働ニ堪ヘル位ノ土地ヲ有ッテ居ル者ガ自作農家ト稱シテ居ルノデアリマス、斯様ナ者ハ開墾助成法ニ依ッテ地主トナリ自作農家トナルコトハ出來ナイノデアアル、固ヨリ資本モナイ者デアリマス、偶、土地ヲ有ッテ居リマシタ所ガ一町歩カ二町歩ニ止ルノデアリマス、五町歩以上ト云フモノニハナラヌノデアリマス、而モ此等ガデス開墾會社ニ依ッテ開墾ヲシテ……土地ガアレバ開墾ヲシテ參ルコトモ出來マセウ、又土地ノナイ者ハ開墾會社ノ開墾シタ土地ヲ拂下ゲテ自作農家ニナルト云フコトモ出來ルノデアリマス自作農ハ國ガ必要トスル、此存在ヲ必要ト認メ之ヲ殖ヤサムトスルナラバ開墾助成法ヨリモ寧ロ開墾會社ノ方ガ其效能アリト謂ハナケレバナラス、第七ハ政府ガソレナラバ、何故自ラヤラスカト云フ御問デアリマスガ、是ハ前ニ御答ヘシタ内ニ含マシテアリマスカラ別ニ御答ハ致シマセヌ、民間デヤラナケレバ國ガヤラナケレバナラヌカト考ヘル位ノコトデアリマス、第八ハ損失ノ負擔ハ政府ニ持タセルコトニナル、即チ開墾助成法ニ依ッテ開墾セムト欲スル者ガ此帝國開墾株式會社ト約束ラシマシテ其仕事ヲ託スル、會社ガ之ヲ仕事ヲスル、請負仕事ニナル、其時ニ若シ損失カ或ハ天災其他ニ依ッテ計算等ノ間違等ヨリ損失ガ生ジタ場合ニ、助成法ニ依ッテ開墾スル主ハ損失ヲ負擔セズニ會社ガ總テ損失ヲ負擔スル、即チ會社ノ損失ハ政府ノ負擔ニナル、斯フ云フコトニナルデハナイカト云フ、固ヨリ其通りデアリマス、サウ云フコトガ起レバ其通りニナルノデアリマス、併ナガラハ前ニモ申ス通り或ハ千百ノ中ニ左様ナ場合ガナイトモ限リマセヌ、サウ云フ場合ニ於テハ先刻申述べタル所ノ希望及命令書ニモアル通り資本ノ缺損ニ對シ政府ノ補給ヲ得タルモノアリトセバ、他日會社ガ八朱以上ノ配當ノ出來ルダケノ利益ヲ得タ場合ニ於テハ先ヅ以テ政府カラ受ケタ資本ノ缺損ノ補給ヲ政府ニ戻スト云フコトニナツテ居リマス、殊ニ傍ラ政府ガ唯今申ス通り土地利用調査會ノ如キモノヲ設ケテ是ガ設計ヲ調べ、土地ヲ選定シテ會社ニ命ジテヤラセルノデアリマスルカラシテ、千百ノ中ニ一ノ損失ノ起ラヌトハ限リマセヌガ、先ヅ其點ハサウ莫大ナル損失ガ國ニカ、ルト云フヤウナ懸念ヲ主張セラル、ニ及バヌカト考

ヘルノデアリマス、第九ニハ農商務大臣ハ此開墾助成法案ニ付テ説明ヲ爲シタル時ニ方ッテ、大ナル開墾地ハ公共團體ニヤラセルト斯ウ云フコトデアッタガ、ソレハ誠ニ宜イコトデアアル、自分モ同意デアアル、ソレダカラ開墾助成法ダケデヤルガ宜イト云フ御考ノヤウデアリマス、此公共團體ニヤラセルト云フコトハ誠ニ結構ナコトデアリマス、若槻君モ御承知ノ通り地方ノ公共團體ハ斯ノ如キ仕事ヲセムトスルナラバ、其地方團體ハ債券ヲ發行シテ金ヲ募ラナケレバナラス、今日ノ狀態ニ於テ各地方ニ於テ町村等ノ如キ地方團體ガデス、相當ノ大ナル金ヲ借リムトシタナラバ、如何ナモノデアリマセウ、利息モ高シ、詰リ租稅ヲ擔保ニシテ非常ナ困難ヲシ、而モ其起債ト云フコトハ容易ニ出來ナイモノデアアル、或ハ勸業銀行デ借り、興業銀行ニ就イテ借リルニシテモ中ノ利息ガ高クナル、容易ニ其地方デ調達スルコトハ出來ナイノデアリマス、公共團體ガヤラムト欲スル所ガ、其公共團體ガ此會社ノ出來ル爲ニデス、借財ヲスル勞ヲ取ル必要ガ無クナルノデアリマス、公共團體自ラガ此大ナル土地ヲ開墾セムト欲スレバ、此帝國株式會社ニ對シテ設計ヲ頼ムコトモ出來、事業ヲヤッテ貰フコトモ、出來上ルノヲ見テヤッテ貰フコトガ出來ルノデアアル、別段起債ヲスル必要ハナイ、自ラ是ダケノ面積ノモノヲ開墾セムガ爲ニ大ナル金ノ掛カル機械ヲ買込ム必要モナイノデアリマス、廉クモ出來ル、ソレ故ニ農商務大臣ノ説明セラレタ大ナル土地ヲ公共團體デヤラセル目的ハ、此會社ガ出來ルガ爲ニ却ッテ其目的ガ達シ易クナルノデアリマス、ソレカラ人口ノコトニ付テ今日ノ所、農村ニハ至ッテ人手ガ無クテ賃金ガ高クテ困ルデハナイカ、而モ此開墾會社ガヤラムトスルヤウナ所ハ人口稀薄ナル所モアル、ソコラヘ持ッテ行ッテ仕事ヲスルナラバ勢ヒ賃金ガ高クナリ、第一人ヲ何處カラ持ッテ來ルカト云フヤウナ御疑念デアアル、又左様ナ場合ニ於テ無理ニ高ク人ヲ使ツタリ何カスレバ工費ガ高ク掛カル、勢ヒ損失ガ出來ル、ソレハ國ガ負擔セニヤナラス、今日農業勞力ト云フモノハ非常ニ缺乏シテ居ルガ、ドウスルノカ、何處カラ人ヲ持ッテ來ルカト、斯ウ云フ御尋デアアル、若シ果シテ我國ノ狀態ガ若槻君ノ判斷サレルガ如ク勞力缺乏デ苦シム所ガアレバ移民問題ナドハ起ラナクツテモ宜イ、成ルホド此戰爭ノ影響トシテ俄ニ數十億ノ工業ガ起リ、ソレガ爲ニ農村ニ行ッテ高キ賃錢ヲ餌ニシテ無暗ニ一時ニ造船會社ヲ始メ、總テノ事業會社ガ地方カラ人ヲ奪ッテ來マシタカラシテ、北海道ヲ始メ農業勞力ノ缺乏ヲ感ジタルコトハ事實デアリマス、併シハ常態デヤナ

イ、是ハ歐羅巴ノ大戦争ノ影響トシテ一時蒙ラタ所ノモノデアッテ、他ノ諸物價ノ騰貴ト同ジコトデアアル、我國ハ決シテ此會社ガ起ツテ仕事ヲスルニ當ツテ農業勞力ノ不足ヲ感ズルト云フコトハナカラウト考ヘル、年々數万人ノ人ガ内ニ耕ス土地ナクシテ外ニ稼ギニ出ルト云フヤウナ有様、勿論場所場所ニ依リマスレバ、人ガ剩ル所モアリ、不足スル所モアリマス、是ハ配給宜シキヲ得ヌ結果デアアル、併ナガラ次男、三男ト云フヤウナ者ガ己ノ居村ニ土地ナクシテ外ニ出ルト云フヤウナ狀況ニ在ル者ガ少カラヌノデアアル、勞力ノ缺乏ト云フコトニ付テハ、是ハ今日一時的ノ現象ニシテ、我國ノ常態デハナイト考ヘルノデアリマシテ、此會社ガ起ツテ仕事ヲスルニ當ツテ、勞力不足ノ爲ニ困ルコトモナカラウト考ヘテ居ルノデアリマス、却ツテ知ラヌ所ノ海外ニ出テ言葉モ分ラズ、氣風モ分ラヌ所ニ出稼ニ行クヨリハ、國內ニ稼ゲル所ガアッタナラバ、其方ガ人情トシテ喜ンデ集メ易イト考ヘル、ソレカラ其次ニ此會社ガ土地ヲ廉賣スル、廉賣スレバ其附近ニ在ル所ノ地主タル者ハ、自ラ其地價ニ影響ヲ生ジテ一時其財産ガ廉クナルト云フ迷惑ヲ受ケルデヤナイカ、其調和ハ如何ニスルカ、斯ウ云フ御尋デアリマス、是ハドウモ此開墾會社ノ開墾ノミデハナカラウト思フ、一時影響ヲ受クルト云フコトガアルカモ知レマセヌガ、併ナガラ從來ノ實況ニ付テ考ヘマスルト云フト、今日デハ平均シマススト云フト、畑ガ一反四百五十圓、全國デハナイ、或所デハ一反七百圓モ八百圓モシテ居リマス、是等ニ至ルト云フト決シテ算盤ニ出合ハス所ノ價有ツテ居リマス、免ニ角此土地ヲ愛スル觀念ト云フモノハ日本ノ農民ハ非常ニ強イノデアリマス、殊ニ此布哇等ニ出稼シテ居リマス所ノ者ハ、歸ツテ來マススト云フト價ニ構ハズ、先ヅ其自分ノ故郷デ地主ニナリタイト云フコトカラ、非常ナ價ヲ出シテ土地ヲ高クスルト云フヤウナコトガアリマス、ダガサウ云フ特別ノ部分ヲ除キマススト云フト、一地方ノ田畑ノ價ハ其地方ノ人ニシテ田畑ヲ買收スル購買ノ力ニ依ツテ實際行ハレテ居ルノデアリマス、能クアルコトデゴザイマス、富豪、豪農ト申サレル者ガ忽ニシテ身代限ヲスルト云フヤウナコトガ起リマシテ、ソレデ銀行ナドニ經驗アル者ハ能ク知ツテ居リマス、成ルホド其府縣ノ地方ノ不斷ノ賣買ハ一段三百圓トカ四百圓トカシテ居リマスケレドモ、ソレモ其地方ノ人ノ購買力ニ依ツテ賣買、ソレニ相應シタ賣買ノ價デアリマヌ、然ルニ茲ニ富豪ガ十町歩ナリ、二十町歩ナリ、百町歩ナリ、之ヲ一時ニ銀行デ處分シナケレバナラヌト云フノデ、之ヲ賣買シマススト云フト、百圓ナ

リ、或ハ百圓以下ニナルコトガアル、是ハ何故カト云フト、其地方ノ購買力ニ餘ル所ノ賣物ガ出ル爲ニ、サウ云フ風ニ地價ガ一時ニ廉クナルト云フコトガアル、是ハ併シ一時的ノ現象デアアル、此開墾會社ガ開墾ヲシタル所ニ自作農或ハ公共團體、或ハ自作人ノ緣故者ニ賣捌ク其モノハ廉ク付キマス、是ガ濟ンダ後デソレガ標準ニナツテ何處デモ廉イト云フ譯ニハイカナイ、必ズ矢張り平生保ツ地價ハ保タレテ居ル、一時ハ影響ガアルカ知レマセヌガ、サウ深ク心配スルニハ及バナイト考ヘル、鐵道ガ通ル、國道ガ出來ル、ソレニ因ツテ現ニ國道トナツテ居ッタ所ガ改マレバ其國道ニ沿ウテ居ッタ地面ノ價ガ下ガル、新ニ開ケタ所ハ土地ノ價ガ上ル、是ハ世ノ進ムニ從ツテ已ムヲ得ザル影響デアアル併シ開墾會社ガ出來テ、其附近ノ人ノ蒙リマスル迷惑ハ、今ノ國道ノ變換ニ依ツテ生ズル迷惑ノ如キ永久的ノモノデハナクテ、一時ノモノデアルト云フコトハ、唯今説明ヲ致シタル通りト考ヘテ居リマス、最後ニ水害ノコトニ及バレテ政府ハ何處何處ノ土地ヲ此開墾會社ニ依ツテ開墾ヲサセルノカ、ソレヲ聞キタイ、承知シタイト云フ、成ル程水害ハ木ヲ伐ル、濫伐スル爲ニ雨量ノ多イ我國ニ於テハ非常ニ水害ヲ増シテ來テ居ルノデアアル、是ガ開墾會社ガ出來タナラ其水害ヲ殖ス、一時ニサウ云フ斷定ハ出來ナイ、斯様ナ會社ガ出來マシテ國家的ニ働キ、政府モ其所ノ取締ヲシテ行ツテ始メテ地方ノ森林ノ濫伐等ヲ防ギ得ル仕組モ立ツテ行クノデアルト思ヒマス、十五度ノ傾斜ノ所ハ悉ク開墾ガ出來ルト云フコトハ、是ハモウ我國ノ如キ風土ノ所ニ於テハ尙更出來得ベキコトデアリマス、然ルニ十五度ノ所デナイ所デモ耕作シ得ベカラザル所マデ、今ノ海岸ノ邊ニ行ツテ見マススト云フト山ノ上ニマデ耕作シテ居ル、耕作シテ居ルカラ、先ヅ平均十五度ノ傾斜ハ開墾シ得ベキ土地ト看做シテ、之ヲ開墾サスルニ當ツテ用地ハ二百萬町歩ドコロデハナイ澤山アルノデアリマスカラシテ、之ニ向ツテ農產物ヲ殖ス計畫ヲナシ、而シテ矢張り是ニハ農業ヲ保護スル上ニ於テハ山林ノ制度ニモ大關係ヲ持ツテ來ルノデアリマスカラシテ、此開墾會社ガ開墾スルカラシテ、益々水害ガ加ハルト云フヤウナコトハ、強テサウ言ヘバ言ヘヌコトモアリマセヌガ、實現スルコトハナイト考ヘル、寧ロ濫伐シテ居ル所ノ弊ヲ防グ方ノ途ニ向フコトト考ヘル、而シテ何處何處ノ土地ト云フコトハ、唯今申シマスル通り大體ニ於テ面積一割五分ニ當ラヌ所ノ開墾地ヲ有ツテ居ル我國デアリマスカラシテ、之ヲ伊太利、佛蘭西、英吉利ニ比較シテ見マスルトマデ數倍、今六百萬町歩ニ足ラナイ開墾地デ

アリマス、之ヲ千万町歩ニシ、千五百万町歩ニスルト云フコトハ容易イ、其土地ヲ得ルコトハ困難デナイ、サウシテ總テノ計畫等ニ付テモ十分ノ調査ヲセネバナラヌノデアリマスルカラシテ、今日即座ニドコソコト云フコトヲ申上ゲル所ノ準備ハナイノデアリマス、此事ニシテ幸ニ御協賛ヲ得ラレタナラバ、是ヨリ先刻申ス通り土地利用調査委員ト云フモノデモ置キマシテ、十分ニ此計畫ノ齟齬シナイヤウニ實行スルコトニナルノデアリマスカラシテ、唯今其箇所ヲ申上ゲルト云フコトハ出來マセヌガ、唯我國ニ於テ開墾スベキ土地、開墾ヲ要スル土地ハ多タル、澤山アリマスト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

〔若槻禮次郎君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 若槻君ハ御質問デアリマスカ

○若槻禮次郎君 質問デアリマセヌガ、チヨット一言申上ゲタウゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 若槻禮次郎君

○若槻禮次郎君 唯今大藏大臣ノ御親切ナル御答辯ヲ得テ感謝イタシマスガ、不幸ニシテ私ノ求メマシタ明瞭ノ御答辯ヲ得ナカッタコトヲ遺憾ト致シマス、併シ此問題ニ付テ明瞭ナル御答辯ハムツカシカラウト思ヒマスカラ、此以上ハ伺ヒマセヌガ、唯農商務大臣ハ公共團體ニ成ルベク大キイ所ヲ開墾セシムルト言ハレタノヲ引用シテ申上ゲタコトニ於テ、大藏大臣ハ逆モ公共團體ハ資金ヲ得ルコトガムツカシイカラ出來ヤシナカッタノダガ、此會社ガ出來タカラ初メテ出來ルト仰ッシャル、農商務大臣ガ御説明ニナッタ時ハマダ此會社ノ計畫ハ出來テ居ナイ時デアル、開墾助成法ニ付テ御説明ニナッタノデアリマスカラ、唯今大藏大臣ノ私ニ對スル駁論ハ即チ山本農商務大臣ヲ駁論サレタコトニナリマスガ、左様ニ了解シテ宜シイノデゴザイマスカ

〔國務大臣男爵高橋是清君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵高橋是清君) 御答ヘ致シマスルガ、公共團體ヲシテ開墾セシムルト云フコトハ誠ニ宜シイト云フコトハ若槻君モ御同感デアリ、私モサウ考ヘル、併ナガラ公共團體ガ其資金ヲ得ルト云フコトハ容易デナイ、必ズ出來ナイトハ申サヌ、容易デナイ、然ルニ此會社ガ出來テソレガ稍、容易ニ成ルト云フコトヲ申上ゲタノデ、而シテ助成法案ハ總豫算ニ載ッテ、サウシテ此會社ハ後デ追加豫算ニ載ッタト云フコトニ付テ、遲速ト云フコトニ付キマシテハ今申上ゲタノデ御了解下サッタノデアラウト存ジマスデ申上ゲマセヌ

○議長(公爵徳川家達君) 休憩イタシマス

午前十一時五十七分休憩

午後一時十三分開議

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス

○鈴木總兵衛君 大藏大臣ニ質問イタシマスガ宜シウゴザイマスカ、帝國開墾株式會社補助ノコトデゴザリマスルガ、之ニ付キマシテハ世間ニ傳フル所ニ依リマスルト、此會社ノ事業ハ東北振興會ト相結ンデヤルト云フヤウナコトニ傳ッテ居リマスガ、斯ウ云フコトガ例ニナリマスト、此後ニ或ハ中央、或ハ西南部等ニ斯ウ云フ會社ガ出來マスル際ニハ、政府ハ矢張り之ニ同様ノ補助ヲ與ヘラレル、斯ウ云フ事柄ヲ總テ補助スルト云フ精神デアリマスカ、如何ナモノデアリマスカ、ソレカラモウ一ツ、此帝國開墾株式會社ノ事業ハ總テ食糧品ニ限ルモノカ、或ハ植樹或ハ苗圃等ヲ造ルコトニモ矢張り此通りノ補助ヲ與ヘルノデアルカト云フコトヲ承リタイ

〔國務大臣男爵高橋是清君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵高橋是清君) 唯今ノ鈴木君ノ御問ニ對シテ御答イタシマスガ、此帝國開墾會社ナルモノノ計畫者ハ國產獎勵會及東北振興會、此兩會ニ於テ同一ノ目的ノ計畫ガ同時ニ偶然ニ興ッテ居ッタノデアアル、東北振興會ナルモノハ、先キニ大正二年ニ於テ澁澤男爵等ノ人々ガ、如何ニモ東北ハ開墾ガ後レテ居ルト云フノデ、主トシテ東北ノ開墾ヲ如何ニシテ之ヲ進捗セシメヤウト云フコトデ、爾來調査ニ從事セラレ、ソレト専門ノ學者、經驗者等ノ意見ヲ集メテ開墾ノ計畫ヲ立テラレタノデアリマス、之ト同時ニ其間ノ相談ナクシテ國產獎勵會ニ於キマシテモ、食糧等ノ問題ニ付テ我國ノ開墾ヲ進メナクレバナラヌト云フ趣旨ヲ以チマシテ計畫ヲ立テラレタノデアリマス、此計畫ヲ立テタト云フコトガ雙方ニ分リ、雙方相話シテ見マスト云フト、其目的、趣旨ハ同一デアリマスルノデ、此兩會ノ代表者ヨリ初メテ總理大臣ニ斯ノ如キ計畫ノアルト云フコトガ移サレタノデアリマス、ソレデ此會社ナルモノハ營利ヲ目的トシナイ會社デアリマスルガ故ニ、政府ノ考フル所デハ再ビ他ニ之ト競争シテ國家的ニ働ク會社ガ與ラウトモ思ハヌ、又其必要モ無カラウト考ヘルノデアリマス、併ナガラ若シ又之ト同一ノ目的ヲ以チマシテ此會社ガ手ガ届カヌ、未ダ十分ニ斯様ナ目的ヲ以テ開墾スベキ餘地モアリ、亦國家之ヲ必要トスルト云フ場合ニ於テ、同一ナル目的ト手段、方法ニ依ッテ國家的ニ

國ニ代ッテ斯ノ如キ仕事ヲシタイト云フ希望者ガゴザイマス場合ニ於テハ、十分ニ是ハ政府ハ考慮スル餘地ノアル問題ト考ヘマス、併ナガラ元々營利會社デナイノデアリマスルカラ、恐ラク一ツ斯様なモノガ出テ其働ヲ十分ニスル以上ハ、他ニ同一ノ手段、目的ヲ以テ與ルモノハ或ハ無カラウト考ヘマス、又此事業ニ付キマシテハ先刻モ申上ゲマシタル通り、單ニ食糧ノ目的ニ止ラズシテ、アラユル農業上ヨリ生ズル所ノ必要ノ物資、而シテ地ニ植エル所ノモノハ苗木ニ致シマシテモ矢張り含ンデ居ル次第デゴザイマスカラシテ、左様御承知ヲ願ヒマス

○鈴木總兵衛君 御答辯デ大體分リマシタガ、マダ少シ腑ニ落チマセヌ、重ネテ御答ヲ煩ハシタイト思ヒマス、植樹、苗圃等ノコトハ含マレテ居ルカ、居ラヌカト云フコトヲ承リタイ、モウ一ツハ最初ノ第一問ノ、其他ニ會社ガ起ッタクキハドウナサルト云フコトノ御答辯ガ、起ルマイト思フ、起ルトキハ考慮スル餘地ガアルト云フ程度ニ承ッタクデアリマス、天下ハ廣ク此經濟界ハ各種ノ同様ノ勃興スベキモノガナイトモ限ラヌ、果シテ起ル時ガアッタラ、矢張り此通り爲サルカト云フコトヲ御明瞭ニ願ヒタイ

〔國務大臣男爵高橋是清君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵高橋是清君) 御答ヘ致シマス、植樹ト申シマスコトハ、即チ山林ノ經營ト云フコトノ意味ト了解シテ宜シウゴザイマスカ、御承知ノ通り獨逸ノ山林ノ如キハ殆ド開墾地ニ木ヲ植エテ仕立テルト云フヤウナ事柄デアリマス、開墾ヲ要シテ其上ニ植樹スルト云フコトガ必要ナ場合ニ於テハ矢張り開墾ノ範圍ニ這入ラヌトハ限ラヌノデアリマス、又他ニ斯ウ云フ會社ガ起リマシタナラバ、必ズ補助ヲスルヤ否ヤト云フコトノ明答ヲ與ヘロト云フコトデアリマスガ、ソレハ先刻考慮ノ餘地アルモノト考ヘルト私ガ申上ゲマシタノハ、是ハ國ガ其場合ニ於テ尙ホ一ツノサウ云フ希望者ガアレバ、其者ヲ保護スルモノカ、其必要ガアルカ否ヤト云フコトハ其場合ニ於テ考慮スルヨリ外ニ、豫メ必ズ幾ツ起ッテモ之ヲ補助スルト云フコトハ斷定ガ出來ナイコトト考ヘル、此會社ガ成立チ會社ノ働キ其經過等ヲ見マシテ、尙ホ他ニ必要アリト認ムレバ國家ハ矢張り之ヲ補助シテ然リト考ヘルノデアリマスガ、ソレハ其場合ニ依ッテ斷定スベキコトニ屬シマスカラ、限ナク生ズレバ必ズ補助スルト云フコトヲ今日明答ヲ與ヘルコトハ遺憾ナガラ出來ナイノデアリマス

○伯爵廣澤金次郎君 本員モ此際一言大藏大臣若クハ他ノ政府當局者カラ御

答辯ヲ得タイコトガアリマスルガ、即チ午前若槻君ノ質問ニ對スル大藏大臣ノ御答辯ト、過日本院ヲ通過イタシマシタル開墾助成法案ノ委員會ニ於キマスル農商務大臣ノ御答辯ト、聊カ齟齬シタル所ガアリマスカラ、何レガ政府ノ本旨デアアルカト云フコトヲ確メテ置ク必要ガアルト考ヘマス、農商務大臣ハ過日開墾助成法案ノ委員會ニ於テ述ベラレテ曰ク、帝國開墾株式會社ナルモノハ政府ノ開墾助成法案提出後ニ出タルモノデアアル、即チ政府ガ開墾助成法案ヲ提出スル當時ニ於テハ斯ノ如キ問題ハナカッタノデアアル、其後ニ東北振興會及國產獎勵會ナルモノガ主トナリマシテ、政府ニ初メテ提案ガアッタニ依ッテ、茲ニ於テ政府ハ考ヘテ、免ニ角食糧ノ充實ト云フコトニ於テハ政府ハ無論必要ヲ認メテ居ルノデアアル、且又帝國開墾會社ノ組織ガ純然タル營利的ノ會社デナクテ、國家的ノ事業デアアルガ故ニ政府ハ之ニ同意スルノデ、又助成法案ノ開墾スベキモノガ二十五万町歩アッテ、マダ他ニ二十五万町歩ノ開墾適地ガ十分ニ本土内ニ在ルカラ、是等ヲ開墾セシムル餘地ガアル故ニ贊同シタト云フコトガ、農商務大臣ノ委員會ニ於ケル御言明デアリマシタ、然ルニ先程若槻君ノ質問ノ御答辯ニハ政府ハ既ニ開墾助成法案ヲ提出當時ニ於テ斯ノ如キ腹案ガアッタカノ如クニ御答辯ナサレテ居リマスガ、即チモウ少シ詳シク申上ゲマスレバ、開墾助成法案ガ閣議ニ於テ問題ニナッタ場合ニ、他ノ方法ニ於テ、或ハ會社デアアルカ、或ハ官營ニシテモ、モウ少シ大規模ノ開墾ヲ同時ニヤル必要ガアルト云フコトヲ其當時カラ認メテ居ッタト云フヤウナ大藏大臣ノ御答辯デゴザイマスガ、是ハ何レガ政府ノ本當ノ御趣旨デアアルカト云フコトヲ確メテ置キタイト思ヒマスカラ、更ニ一應大藏大臣ノ御説明ヲ願ヒマス

〔國務大臣男爵高橋是清君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵高橋是清君) 廣澤伯爵ニ御答イタシマスルガ、私ノ答辯ノ言葉ガ足ラヌ故ニ左様ニ御解釋ニナッタカモ知リマセヌガ、此來歴ハ斯様デス、曩ニ總豫算ヲ組ミマス時ニ當ッテ、開墾助成法案ニ依ッテ補給スベキ金額ヲ豫算ニ計上イタシマシテ、閣議デ之ヲ決定シマシタノハ十二月ノ中旬デゴザイマス、其當時ニ於キマシテハマダ此會社ノ方ノコトニ付キマシテハ計畫ト云フモノガ決ッテ話ヲ聽イタコトハナイノデアリマス、此計畫ガ兩會ノ即チ東北振興會ト國產獎勵會トノ兩方ノ計畫ヲ具體的ニ其要點ヲ聽イタノハ確カ二月ノ頃ト考ヘテ居リマス、ソレデサウ云フ經過デアリマスカラシテ、開墾助成法

案ヲ出シマシタ時ニハ此會社ノコトハマダ決ッテ居ラヌト云フコトハ事實デアリマス、唯開墾助成法ヲ閣議デ議シマスル時ニ當ッテ、是デ開墾ノコトハ至レリ盡セリ、満足ナリト云フ考ヲ有ッテ居ッタノデハナイノデ、マダ此開墾ヲ増進スル方法、手段ガ必要デアアル、先ヅ食糧ヲ主トシテ殖ヤサウト云フノハ開墾助成法案ニ依ッテ之ヲ専ラ努メル、併シ大體ニ於テ成ルベク早く開墾地ヲ増シテ食糧モ早く充實サセテ、國民ノ安心ニナルヤウニ、又一方ニハ製造工業ノ原料タル農産物ヲ大ニ殖サナケレバナラスト云フ考ヲ有ッテ居ッタノデアリマス、併ナガラ具體的ニ斯ノ如クシタラ宜カラウト云フ計畫マデニハ進ンデ居ラナカッタ、其時ニ此國產獎勵會ト東北振興會トノ方ノ計畫ガ稍、具體的ニ話ヲ聽クコトガ出來ルヤウニナッタモノデアリマスカラシテ、如何ニモ時期ニ於テハ切迫シテ居リマシタケレドモ、此計畫ハ國家ノ爲メ又社會政策ノ爲メ大ニ必要デアルト考ヘマシテ、提出ヲスルヤウナコトニ立至ッタノデアリマス、其故ニ農商務大臣ノ説明ト大藏大臣ノ説明トハ斯様ナ次第デアリマシテ決シテ齟齬シタモノデハナイノデアリマス、實際ノ計畫ヲ申上ゲマスレバ……ソコデ先刻モ申上ゲタ通り左様ニ切迫シテ居リマシタ爲ニ衆議院ニ於テ參考書ヲ急ニ求メラレタ爲ニ、其參考書ニ付テ十分ニマダ政府ノ考慮シ、審議シテ之ヲ改メネバナラスモノガ其暇ナクシテ、參考ニ出シタノガ一層其惑ヲ來タシタト云フ憾ガアルノデアリマス、併ナガラ爾來質問應答ノ間ニ於テ此會社ノ如何ナルモノダト云フ實體ガ分リマシタ爲ニ、改メテ具體的ニ斯ノ如キ法ヲ設ケテ衆議院ニ於テ具體的ニ政府ノ意ヲ質シ、政府ハ政府ノ考ヘル所トモ頭變ラナイカラ之ヲ應諾シテ協賛ヲ得テ居ル次第デアリマス、ドウカ其邊ノ事情ヲ能ク御汲取リ下サイマシテ、此案ニ對シテ御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ願ヒマス

○阪本鈺之助君 本員ハ議事ノ進行ニ付キマシテ一言イタシタイト存ジマスカ、唯今議題ニナッテ居リマスコトハ申スマデモナク、豫算ハ産業獎勵費デアリマス、又豫算外國庫ノ負擔トナリマスコトモ、農商務省ノ所管トシテ提出ニナッテ居リマスニモ拘ラズ、午前ヨリ全ク大藏大臣ガ總テ答辯ヲセラレルノデアリマス、此各議員ノ質問中ニハ農商務大臣ノ答辯ト、今日ノ大藏大臣ノ答辯トハ齟齬シテ居ルト云フヤウナ質問モ段々アリマス、又將來實施スルニ當ッテ如何ニスルト云フ問題モ多ク出テ居ルノデアリマス、又將來ノコトニ付テハ農商務大臣ガ執行ノ責ニ任ゼラレルノデアリマスカラ、農商務大臣ノ意

思如何ト云フコトハ、確ニ此議場ニ明答ヲセラルベキ責任アルモノト考ヘルノデアリマスガ、而モ農商務大臣ハ午前ヨリ著席ニナッテ居ルノデアアル、財政上ノ關係ヨリ大藏大臣ガ答辯セラレルト云フコトハ至當ノ事ト考ヘマスガ、唯今申シマシタヤウナ事柄ニ付テ農商務大臣ガ其所ニ當ッテ答辯セラレルモノト考ヘマスガ、唯沈黙シテ大藏大臣ニ御委セニナッテ居ルト云フコトハ、主務大臣ハ餘リ御熱心デナイ、強テ通過ハ御望ニナラスト云フ意味ニモ見エマスガ、マサカサウ云フコトハ無カラウト思フ、甚ダ重大ナル議案ヲ議場ニ提出シテ置キナガラ、關係ノ各大臣モ一向御説明ガアリマセヌ、而モ唯今問題ニナッテ居ル問題ノ質問ニ對シテハ農商務大臣ヨリ一言モ答辯ガアリマセヌ、本員等ハ之ヲ疑フノデアリマス、農商務大臣ハ將來大藏大臣ガ御述ニナルコトハ皆無論御同意デアルト思ヒマスガ、御同意デ矢張り此案ニ對シテ御熱心デアルヤ否ヤト云フコトニ付テ、一應承ッテ置キタイト思ヒマス

〔國務大臣山本達雄君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(山本達雄君) 開墾會社ノ計畫ニ付テハ今朝大藏大臣ヨリ豫算ノ説明ニ於キマシテ序ニ此趣旨ト云フモノヲ述ベマシタ、是ハ其當時ニ於テ大藏大臣ヨリ申述ベマシタ如ク、私ハ此開墾會社ノ此案ニ於テ衆議院ノ本會議ニカ、リ、又豫算會議ノ決議ノ時ニ於キマシテ病氣ノ爲ニ缺勤ヲ致シマシタ、ソレガ爲ニ大藏大臣ガ總テ代ッテ述ベマシタ、而シテ衆議院ニ於テ數多ノ希望ナド起リマシタ、ソレニ付テ總テ政府ニ於テハ同意ヲシタノデゴザイマス、サウ云フ關係ヨリ大藏大臣ガ述ベマシタ方ガ却ッテ宜カラウト云フコトデゴザイマシテ、而シテ大藏大臣ニ説明ヲ委セテ置イタ次第デゴザイマス、隨ヒマシテ大藏大臣ノ述ベマシタ事ハ、私ノ述ベマシタト同様デアリマシテ、之ニ付キマシテ素ヨリ責任ヲ負フ譯デアリマス、隨ッテ私が説明セナイ爲ニ何カ農商務大臣ガ之ニ付テハ冷淡デアルカノ如ク御疑デアリマスガ、決シテ左様デハアリマセヌデス、今申上ゲマス如ク病氣ノ爲ニ途中……衆議院ニ於テ述ベマシタ故ニ、却ッテ大藏大臣ヨリ述ベタ方ガ宜カラウト云フ積リデ述ベタ次第デアリマス、御答イタシマス

○江木千之君 私モ一言伺ヒタイコトガアリマスガ、唯今議題ニ上ッテ居リマス所ノ追加豫算ヲ見マスルト、此中ニハ神戸港修築、門司港ノ修築、又唯今ヤカマシク御質問ニナル所ノ開墾會社等ノ大問題ガ含マレテ居ルノデアリマスカ、是ハ衆議院ニ提出セラレタノハ何時デアリマスカ、衆議院ニ於テハ此

審議ノ爲ニ幾日ヲ費サレタノデアルカ、ソレヲ伺ヒタイノデアリマス、又我ガ貴族院ニ於テハ會期ハ剩ス所僅ニ二日デアリマスガ、此二日間ニ於テ是等ノ大問題ハ貴族院ニ於テ議スルト云フ御見込デアリマスガ、若クハ會期ノ延長ヲ奏請セラル、ノ御考デアリマセウカ、全體何レノ内閣ヲ問ハズ、會期切迫ノ場合ニ大問題ヲ提出セラレテ屢、困ルコトガアル、貴族院ニ於テハ常ニ政府ニ對シテ警告イタシテ居ルノデアリマスガ、併シ是ホド會期ノ切迫シタ場合ニ、是ホドノ大問題ヲ提出セラレタ例ハ本員ノ記憶ニハ無イノデアリマ

スガ、政府ノ御考ハ何レニ在ルカト云フコトヲ伺ヒタイト考ヘル

〔政府委員河田烈君演壇ニ登ル〕
○江木千之君 唯今私ノ質問ハ會期ノ延長ヲ奏請セラル、ヤ否ヤト云フ意味ヲ含シテ居ルノデアリマスカラ、責任アル國務大臣ノ答辯ヲ得タイト考ヘルノデアリマス、政府委員ノ之ニ對シテノ説明ハ必要ハ無イノデアリマス

○政府委員(河田烈君) 私カラ申上ゲマスコトハ甚ダ恐縮ノ至デアリマ

ガ、唯今大藏大臣ハ委員會ノ方ニ出席ヲ要求サレテチヨット失禮ヲ致シマシタカラ、唯事實ダケヲ申上ゲテ置キタイと思ヒマス、此追加豫算ガ衆議院ニ提出サレタノハ、三月十四日デアリマス、又追加豫算ガ提出セラレマス時期ニ付キマシテハ、往々餘リ遅クナラヌヤウニト云フ御非難ヲ蒙リマスコトガゴザイマスガ、舊來ノ例ニ依リマスト三月二十五日若クハ二十六日頃ニ閉會トナリマス會期、即チ當會期ノ如キ時ニ於キマシテ、或ハ三月十八日、或ハ三月二十日前後ニ於キマシテ提出イタサレマシタコトハ往々ゴザイマスル次第デゴザイマスル、是ヨリ以上ハ私カラ申上ゲル限デゴザイマセスト思ヒマスカラ、事實ダケヲ申上ゲテ置キマス

○江木千之君 衆議院カラハ何時……

○政府委員(河田烈君) 御答ヲ申上ゲマス、衆議院ヨリ當院ニ回付サレマシタノハ三月二十一日デゴザイマス、即チ約一週間ノ期間デアッタノデアリマス
○男爵阪谷芳郎君 從來政府ガ會社ニ補助ヲ與ヘラル、場合ニハ、五分トカ八分トカ云フ制限ガ附イテ居リマシテ、其制限ダケノ金額即チ百万圓ニ付テ八分ナラバ八萬圓ト限ルト云フコトニナツテ居リマスルガ、此度ノ開墾會社ノ補助ハ會社ガ自分デ經畫ヲ誤ッテ損失シタモノヲモ補助スルヤウニナツテ居ルヤウデアリマスルガ、斯ル新例ヲ開カレルト云フコトハ容易ナラザルコトデアラウト思ヒマス、染料會社カ何カノ補助デーッ例ガアッタカト思ヒマスル

ガ、ソレハ極ク取除ノ例デアッテ、通常會社ガ自ラ經營ヲ誤ッテ損シタコトマデ國民ガ負擔シナケレバナラスト云フ理窟ハナイト思ヒマスルガ、何ガ故ニ斯ル新例ヲ御開キニナルノデアルカ、斯ル新例ハ宜シクナイト云フ御考ハナイノデアルカ、大藏大臣ニ質問イタシタウゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 御諮リ致シマスガ、江木千之君ノ會期延長奏請ノ件、又唯今阪谷男爵ノ大藏大臣ニ對スル質問、大藏大臣ノ答辯ヲ御求メニナルデアラウト考ヘマスガ、大藏大臣ハ唯今第一分科會ヘ是非出席セネバナラヌ趣デ退席シタノデアリマスカラ、御望デアレバ日程第一、第二、第三ハ暫ク延シマシテ、第四、第五、第六、第七、第八、第九、第十、此日程ニ移ッテハドウデアリマスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○江木千之君 左様願ヒタイト考ヘマス

○議長(公爵德川家達君) 江木君ハ其事ヲ御希望デアリマスカラ、諸君ニ於テ御異議ガナケレバ便宜議長ニ於テ左様取計ヒタイト考ヘルノデアリマス
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 日程第四、地方鐵道法案、第五、輕便鐵道補助法中改正法律案、第六、鐵道抵當法中改正法律案、第七、鐵道船舶郵便法中改正法律案、第八、鐵道營業法中改正法律案、第九、軌道條例中改正法律案、第十、仙北輕便鐵道買收費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案 政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、是等ノ法案ハ同一委員ニ付託セラレマシタカラ御報告ハ一括セラレテ宜シカラウト考ヘマス

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕
地方鐵道法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
大正八年三月二十一日

右特別委員長

侯爵細川護立

貴族院議長公爵德川家達殿

輕便鐵道補助法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正八年三月二十一日

右特別委員長

侯爵細川護立

貴族院議長公爵德川家達殿

鐵道抵當法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正八年三月二十一日

右特別委員長

侯爵細川護立

貴族院議長公爵德川家達殿

鐵道船舶郵便法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正八年三月二十一日

右特別委員長

侯爵細川護立

貴族院議長公爵德川家達殿

鐵道營業法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正八年三月二十一日

右特別委員長

侯爵細川護立

貴族院議長公爵德川家達殿

軌道條例中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正八年三月二十一日

右特別委員長

貴族院議長公爵德川家達殿

侯爵細川護立

仙北輕便鐵道買收費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正八年三月二十一日

右特別委員長

侯爵細川護立

貴族院議長公爵德川家達殿

〔侯爵細川護立君演壇ニ登ル〕

○侯爵細川護立君 唯今日程ニ上リマシタ日程第四ヨリ第十マデノ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ簡單ニ御報告イタシマス、其中テ便宜上第四ヨリ第九マデヲ東ネテ御報告イタシマス、此地方鐵道法案提出ノ理由ハ曩ニ三月八日本議場ニ於テ政府委員ヨリ説明ガゴザイマシタ通り、又委員會ニ於テモ之ニ附加ヘマシテ詳細ナル説明ヲ承ッタノデゴザイマス、現在ノ私設鐵道ニ付キマシテハ、私設鐵道法及輕便鐵道法ノ二ツガアリマスノヲ、私設鐵道ノ方ハ今日ニ於テ適用ナク、輕便鐵道ノ方ハ制定以來十年ヲ經過シテ種々不備ナ點ガアリマスノデ、之ヲ廢シ統一シテ此地方鐵道法ナルモノヲ此度提出サレタノデアリマス、次ノ日程第五ヨリ第九マデ此五ツノ法律案ハ何レモ地方鐵道法ノ制定ニ關シマシテ、當然必要トスベキ文字ノ訂正及準用ノ規定ニナツテ居リマス、中ニモ第六ノ鐵道抵當法中改正法律案及第八ノ鐵道營業法中改正法律案、第二案ニ付テハ地方鐵道法制定ニ關シナイ二三ノ點ガアルノデゴザイマス、質問ニ付テハ多少ゴザイマシタケレドモ、今ハ詳ク申述べマセヌ、唯其質問ノ箇條ヲ列舉シタイト存ジマス、地方鐵道法ニ於テハ、鐵道敷設法ノ第三條ノ私設鐵道ノ處分ニ關スル規定ト本法トノ關係、第十八條、第十九條ノ免許ニ屬スル權利、義務ト云フ性質ニ付テ、又第三十六條ノ補償金額ノ算出方ニ付テモ質問ガアリマシタ、其他衆議院ノ修正ニ對スル政府ノ意見、又私設鐵道同志會ノ修正意見ニ對スル政府ノ意見、更ニ道路法ニ付テ、道路法トノ關係ニ於テモ種々質問ガアッタノデアリマス、採決ニ當リマシテ、地方鐵道法案ニ付テハ一委員ヨリ意見ガ出タノデアリマス、ソレヲ簡單ニ御紹介イタシマス、一委員ハ第一、此第十八條ノ免許ニ屬スル權利、義務ト言フ中ノ鐵

道ノ讓渡ヲ含ムト解スルノハ此第十九條ノ二項ト對照シテ多少了解ニ苦シム
點ガアルト云フコトデアリマス、而シテ此第二十六條ノ中ニ讓渡ノ二字ヲ加
ヘルノガ寧ロ適當デアルト思フ、斯ウ云フコトデアリマス、又一ツハ第十九
條ノ二項ニ「承繼スルコトヲ得」ト云フ文字ガアリマス、承繼スルト變ヘ
タガ法文トシテ適當デハナイカト思フ、斯ウ云フ意見デアリマス、併シ是
等ノコトハ今日ノ場合強テ修正ヲ致サヌ、修正ノ議ハ提出シナイガ、實際ノ
問題ニ遭遇シタ場合ニ於テ、當局ノ穩健ナル處理ニ一任シテ遺憾ナキヲ期シ
タク、茲ニ本案全體ニ付テ賛成ヲスルト云フ意見デアリマス、尙ホ一委員ハ
既ニ道路法モ出來タ以上ハ政府ノ言明ノ通り次ノ議會ニ於テ軌道條例ヲ改正
サレルト云フコトヲ信ジテ此法案全體ニ賛成ヲサレルト云フ意見デアリマ
ス、即チ採決ノ結果日程第四ヨリ第九マデ何等ノ異議モナク可決イタシタ次
第デゴザイマス、次ニ日程第十、仙北輕便鐵道買收費支辨ノ爲公債發行ニ關
スル法律案、是ハ御承知ノ如ク小牛田石卷間ノ輕便鐵道デアリマシテ、十七
哩四分、二呎六吋ノ軌道デアリマス、是ハ鐵道敷設法ノ豫定線デアリマシテ、
政府ハ此度買收ノ必要ヲ感ジテ此會社ト協定ノ上此金額ヲ決定シタ次第デア
リマス、質問ニ於テモ買收價格算定ノ基礎、或ハ會社ノ營業狀態ノ質問ガア
リマシテ、各、答辯ヲ得マシタ、尙ホ他ニ此線ト等シク豫定線ノ一部デアッテ
他日買收スルコトヲ必要トスル線ニ付テ質問ガアリマシタ時ニ、政府委員ヨ
リ甲府ヨリ岩淵ニ至ル鐵道、下關萩ノ鐵道、西條ヨリ松山ニ至ル鐵道ノ如キ
ハサウ云フ心組デアルト云フヤウナ答ヲ得タノデアリマス、採決ニ至リマシ
テハ何等異議ナク可決シタ次第デゴザイマス、此段御報告イタシマス

○菅原通敬君 私ハ此場合政府ニ御尋ヲ致シテ置キタイト思フノデスガ、其
問題ハ此地方鐵道法案ガ初メテ本院ノ議ニ上リマシタ場合ニ氣ノ付イタ事柄
デゴザイマスガ、直チニ或ル向キノ方ニハ注意ヲ促シテ置イタノデアリマス、
或ハ其後何等カノ機會ニ於テ此事柄ガ明ニナルコトデモアラウカト思ッテ居ッ
タノデゴザイマシタガ、今ニ至ルマデ何等事ヲ明ニスルコトガ出來ヌノミナ
ラズ、委員會ニ於キマシテモ、問題ノ之ニ觸ル、コトガナカッタヤウデアリマ
スガ故ニ、已ムヲ得ズ此場合ニ於テ御尋ヲ申シテ置キマシテ、其義ヲ明ニシ
テ置キタイト思フノデアリマス、ソレニ付キマシテ、先ヅ第一ニ御伺ヒ致ス
ノハ、此地方鐵道法……輕便鐵道法並ニ私設鐵道法ノ廢止ニ方ッテ、之ニ關係
スル法規中改正ヲ要セラレルモノハ、今般茲ニ御出シニナッテ第五、第六、第

七、第八、第九ニ掲ゲラレテ居ル所ノ法案以外ニ有ルノデアリマスカ無イノ
デアリマスカ、若シ有リト致シタナラバドウ云フモノガアリマスカ、若シ御
改正ヲ要スルコトデアリマスナラバ、何時ソレヲ御提出ニナルノデアリマス
カ、尙ホ加ヘテ御尋スルノハ、本法ハ此施行ノ期日ヲ勅令ヲ以テ定メルト云
フコトニナッテ居リマスガ、其施行ハ凡ソ何時頃ノ御見込デアリマスカ、先ヅ
此二點ニ付テ伺ッテ置キマシテ、尙ホ重ネテ御伺シタイト思フノデアリマス
○議長(公爵德川家達君) 此際皆様ニ御諮リヲ致シマス、日程ノ第四ヨリ第
九マデ東ネテ問題ニ致シタク思ヒマス、御異議ガゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ガナイト認メマス、床次鐵道院總裁

〔政府委員床次竹二郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(床次竹二郎君) 唯今ノ御尋ノ第一點ハ、是以外ニ改正スベキモ
ノハ無イ積リデアリマス、第二ノ御尋ノ施行期日ハ八月ノ積リデアリマス

〔菅原通敬君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 菅原君ノ御質問ハドノ問題デスカ

○菅原通敬君 日程第四ニ關連イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス

○菅原通敬君 營業稅法第五條ノ二ニ私設鐵道法、輕便鐵道法、又ハ軌道條
例ニ依ッテ運送ノ業ヲ營ム者ハ、鐵道業トシテ課稅スルト云フコトノ規定ニ
ナッテ居リマス、若シ此法律ヲ改正セラレルト云フコトニナリマス、現在私
設鐵道法又ハ輕便鐵道法ニ依ッテ營業イタシテ居ル所ノ鐵道業ナルモノハ、此
私設鐵道法及輕便鐵道法ノ廢止ニ依ッテ、鐵道業トシテ課稅ガ出來ヌト云フ
コトニナルノデアリマシテ、其結果ハ運送業トシテ課稅ヲシテ行カナケレバ
ナラヌト云フコトニナラウト思ヒマスガ、其事ハ果シテ營業者ノ同意ヲ得ル
ノデアリマスガ、又政府トシテモ其處マデ御考ニナッテ居ルコトデアリマス
カ、先キニ運送業法中ヨリ鐵道業ト云フモノヲ分離イタシマシタト云フコト
ハ、運送業トシテ課稅ヲ受ケルコトニナレバ資本金額ヲ課稅標準トスルコト
ニナル、ソレデハ鐵道業者ノ堪ヘル所ニアラズトシテ、更ニ鐵道業ト云フモ
ノヲ分離シテ、收入金額ヲ課稅ノ標準トシテ課稅スルコトニ改ッタノデアリマ
スガ、之ヲ以テ先ノ如ク運送業トシテ課稅スルト云フコトニナリマス、ト云フ
コトハ、當業者ノ決シテ忍ブ所デナイト思フ、其點ニ付テ鐵道監督官廳トシ

テ如何ニ御考ニナツテ居リマスカ

〔政府委員佐竹三吾君演壇ニ登ル〕

○政府委員(佐竹三吾君) 私カラ御答ヲ申上ゲマス、唯今ノ問題ニ付キマシテハ、大藏省ノ當局ト相談イタシマシテ法律ノ解釋上地方鐵道法ニ依リ鐵道業ヲ營ムモノトシテ、課税ヲスルト云フコトニ取扱フ考デアリマス、從ツテ今回ハ法律ノ改正案ヲ提出イタサナカッタノデアリマス

○菅原通敬君 唯今ノ政府ノ御答辯ハ甚ダ當ヲ得ナイト思フ、解釋上ニ依ツテ取扱ヲスルト云フヤウナコトノ出來ル問題ノ性質ノモノデナイノデアリマス、若シ是ガ行政裁判ノ問題ニナツテ御覽ナサイ、ドウ云フヤウナコトニナリマスノデアリマセウカ、課税ノ基礎ハ最モ嚴格ニ解釋イタサナケレバナラヌノデアリマス、解釋ニ依ツテ取扱ニ依ツテ輕キ負擔デ濟ムモノガ重イ負擔ニナルト云フコトハドウシテソレガ出來ルコトデアリマスカ、サウ云フヤウナコトハ到底許スベカラザルコトデアルト思フノデアリマス、私ハ思フニ此營業税法ノ改正ト云フマデニ考ヘ及バナカッタト云フコトヲ、或ハ政府ノ手落デナカッタカト思フノデアリマス、私ハ唯今其手落ガアッタト云フコトヲ御答スル譯デナイガ、寧ロ是ハ次ノ議會ニデモ改正案ヲ提出サレテ、廻ツテモ矢張り鐵道業トシテ課税スルト云フヤウナコトニ取扱フ積リデアルト云フコトニ政府ハ御考ニナツテ、而シテ此義ヲ明ニシテ置カレルト云フコトハ、當業者トシテハ満足デアラウト思フノデアリマス、尙ホ矢張り解釋上デ御遣リニナル御積リデアリマスカ

〔政府委員床次竹二郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(床次竹二郎君) 御答イタシマスガ、唯今政府委員ヨリ御答イタシタ通りニ考ヘテ居リマス、去リナガラ御尋ノ如キコトニ解釋イタサナケレバナラヌヤウデアリマスレバ、次ノ議會ニ改正法ヲ出スコトハ何等厭フ次第デハアリマセヌ

○議長(公爵徳川家達君) 唯今問題ニ供シマシタ日程第四ヨリ第九ノ法案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○侯爵細川護立君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ……

〔侯爵佐佐木行忠君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 佐佐木侯爵ハ何デスカ

○侯爵佐佐木行忠君 直チニ第二讀會ヲ開カレルコトニ賛成イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 六案ノ第二讀會ヲ直チニ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 六案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○侯爵細川護立君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○男爵高木兼寛君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ六案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第十、仙北輕便鐵道買收費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案、第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○侯爵細川護立君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ……

○男爵高木兼寛君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ直チニ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 原案ニ御異存ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○侯爵細川護立君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ……

○男爵高木兼寛君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第十一、大正七年法律第三十七號中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、委員長報告

大正七年法律第三十七號中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正八年三月二十一日

右特別委員長

侯爵佐佐木行忠

貴族院議長公爵德川家達殿

〔侯爵佐佐木行忠君演壇ニ登ル〕

○侯爵佐佐木行忠君 委員會ノ經過ト竝ニ結果ヲ御報告申シマス、委員會ニ於キマシテハ二三ノ質問ガゴザイマシテ、且ツ政府ノ同意モアルコトヲ確メマシテ、又食糧政策上、本案ハ妥當ト認メマシテ、全會一致ヲ以テ可決イタシマシタ、右御報告申上ゲマス

○議長(公爵德川家達君) 此際休憩ヲ致シマス

午後二時四分休憩

午後二時四十九分開議

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ報告ヲ致サセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

本日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

大正八年度歳入歳出總豫算追加案(第四號)

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ前刻ニ引續イテ開會イタシマス、日程第十一ノ法律案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ガナイト認メマス

○侯爵佐佐木行忠君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵伊集院兼知君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 原案ニ御異存ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○侯爵佐佐木行忠君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵伊集院兼知君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、此際御諮リヲ致シマス、唯今書記官ヲシテ報告ヲ致サセマシタ大正八年度歳入歳出總豫算追加案第四號、審査期限ヲ定ムルノ件ヲ、議事日程ヲ變更シテ先キニ延期セラレマシタ日程第一乃至第三ト共ニ追加イタシタク存ジマス、御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔左ノ送付文ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ玆ニ載録ス〕

第四號)大正八年度歳入歳出總豫算追加案

右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正八年三月二十四日

衆議院議長 大岡育造

貴族院議長公爵徳川家達殿

○議長(公爵徳川家達君) 江木千之君ニ申上ゲマスガ、先刻會期延長奏請ノ件ニ付テ國務大臣ノ答辯ヲ求メラレマシタ、モウ一應御質問ノ趣意ヲ簡單ニ御申述ニナッタ方ガ宜シカラウカト考ヘマス

○江木千之君 先刻御宣告ニナリマシタ其問題ニナツテ居リマス所ノ豫算案ヲ見マスルト、其中ニハ神戸ノ港ノ修築門司ノ港ノ修築、ソレカラ今朝以來當議場ニ於テノヤカマシイ質問ノアリマスル所ノ開墾會社ニ關スル件等ヲ含ンデ居リマス、是等ノ重大問題ノアル所ノ此追加豫算ヲ會期切迫ノ場合ニ提出セラレタ、餘ス所僅カ二日デアリマスガ、是等ノ大問題ヲ貴族院ガ二日間ニ議シシ得ルモノト御認ニナツテ此案ヲ提出セラレタノデアリマセウカ、ソレトモ議事ノ進行ヲ見テ會期ノ延長ヲ奏請ヒラル、ノ御考デアリマセウカ、是マデ歴代ノ内閣ハ會期切迫ノ場合ニ重大ナル問題ヲ提出セラル、コトニ付テハ、貴族院ハ非常ニ力ヲ入レテ斯ノ如キコトガナイヤウニト云フコトハ屢々警告シタノデアリマスル、然ルニモ拘ラズ今回又斯ウ云フコトニ遭遇シタノデアリマスルガ、此例ハ既往ニ照シテ考ヘテ見マシテモ殆ド先例ガナイカノヤウニ考ヘルノデアリマス、國務大臣ハ此點ニ付キマシテハ如何ナル考デアルカト云フコトヲ伺ヒタイノデゴザイマス

〔國務大臣原敬君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(原敬君) 唯今ノ江木君ノ御質問ニ御答ヘ致シマスガ、政府ハ殊更ニ重大ナル問題ヲ會期切迫ノ場合ニ提出スルト云フヤウナル意思ハ毛頭有ツテ居リマセヌ、併ナガラ帝國議會ノ會期ハ僅カ三箇月デアリマスガ故ニ、調査等ノ手間取リマシタモノハ勢ヒ已ムヲ得ズ段々會期ノ末ニ提出スル場合ガアルノデアリマス、甚ダ遺憾ノコトデアリマスルガ、段々調査ノ實況等ニ願ミマスレバ是迄トモ多ク已ムヲ得ヌ場合デアルト考ヘルノデアリマス、

併シ出來得ルダケス様ナルコトハ避ケタイト云フコトハ私ノ精神デアリマスケレドモ、實際ニ於テハ甚ダ困難ナルコトガ多クアラウト考ヘマスルカラ、此事ハ一應御斷ヲ申シテ置キタイノデアリマス、而シテ今期議會ヲ延長イタスヤ否ヤト云フコトニ付キマシテハ、無論政府ニ於キマシテハ今期議會ノ定テ居リマスル日數ノ間ニ是等ノ案件ハ決議セラレルモノト認メマシテ提出イタシテ居ルノデアリマス、其以上ハ兩院ノ審査ノ狀況ノ如何ニ依リマシテハ、場合ニ依リマスレバ延長ヲ奏請イタサナケレバナラヌ場合モ無論起ルノデアリマスガ、豫メ此ニ延長ヲ奏請スル、若クバシナイト云フコトヲ申上ゲ兼ネマス、ケレドモ、是ハ兩院ニ於テ議案審査ノ狀況如何ニ依ルモノデアルト御諒解ヲ願ッテ置キタイ

〔男爵阪谷芳郎君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 阪谷男爵ハ御質問デスカ

○男爵阪谷芳郎君 午前ニ御質問イタシテ置キマシタガ……

○議長(公爵徳川家達君) モウ一應御述ニナッタラ如何デゴザイマス

○男爵阪谷芳郎君 開墾株式會社ノ補助ハ年八分ノ補助ト云フコトニナツテ居リマスガ、尙ホ損失ガアレバ損失ヲモ補填スルト云フコトニナツテ居リマスガ、從來政府ガ會社ニ補助ヲ與ヘラレタ場合ニハ拂込金ノ八分ト云フモノヲ限トスル、五分ヲ限トスルト云フヤウニ一定シテ居ル、即チ政府ノ支出スル金額ガ一箇年八分ノ補助デアラナラバ百万圓ニ付テハ八万圓ヲ超エヌトカ云フコトニナツテ居リマスガ、此度ノ補助ノ仕方ハ會社ノ當事者ガ其經營宜シキヲ失ッテ損失ヲシタ場合ニモ、國民一般ガ之ヲ負擔シナケレバナラヌヤウニ聞エルノデアリマス、デスル例ハ染料株式會社ノ補助ニ一ツアッタカト記憶イタシマスルガ、從來例ノナイコトデアリマシテ、斯ウ云フ新例ヲ開クコトハ或ハ將來ノ惡例ニナリハシナイカト慮ル、ノデアリマス、此補助ノ仕方ヲ斯ノ如クナサラナケレバナラヌト云フ必要ハ如何ナルモノデアリマスルカ、是ガナケレバ會社ガ成立シナイト云フ政府ハ御考ナンデアリマセウカ、又將來ニ於テ補助ノ仕方ヲ斯ウ云フ風ニ御改ニナルト云フ御考ナンデアリマスルカ、私ニ於キマシテハ從來ノ如ク會社ノ取締ヲ嚴重ニセラレルト云フ方針ヲ至極是ナリト考ヘマスルガ故ニ、斯ル惡例ハ御開ニナラヌ方ガ宜クハナイカト考ヘマスルガ、一應承ッテ置キタイノデス

〔國務大臣男爵高橋是清君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵高橋是清君) 唯今ノ御尋ハ他ノ例ヲ申上ゲマスレバ、染料藥品製造獎勵法ガ即チ損失ヲ填補シ、尙ホ配當ノ八朱ヲ保證シテ居ルノデゴザイマス、此法律ノ下ニ出來マシタル所ノ染料會社ナルモノハ、矢張り損失ガ生ジマスレバ、政府ガ其損失ヲ填メ、尙ホ其上ニ拂込金ニ對シテ八朱マデ補給ヲスルト云フコトニナツテ居リマス、併ナガラ此損失ヲ生ズルコトハ、會社自ラノ重大ナル過失ニ出タルモノニ對シテハ、政府ハ此義務ハナイノデアアリマス、而シテ此點ニ付キマシテハ、過刻陳述イタシマシタル通り、豫メ政府ニ於テ機關ニ依ツテ仕事ノ性質、場所等ヲ調査研究ノ上計畫ヲ定メ、萬過チナキコトヲ確メテ承認ヲ與ヘル次第デアリマスルカラ、先ヅ損失ノ生ズルコトハ稀デアルト考ヘテ居リマス、而シテ染料會社ノ補給ノ仕方ト違ヒマスノハ、開墾會社ニ於キマシテハ、資本ニ缺損ヲ來タシタル場合ニ、政府ガ先ヅ此缺損ヲ補フ、而シテ後ニ後ノ年度ニ於キマシテ、會社ガ利益ヲ生ジタル場合ニ、政府ノ補助ヲ仰ガズシテ株主ニ對シテ八朱ノ配當ヲシ、尙ホ其上ニ利益ガ剩リマシタルバ、其剩リマシタルモノヲ以テ、曩ニ政府ガ資本ニ對スル缺損ヲ補填シタルモノヲ會社ヨリ政府ニ返還セシメルト云フコトガ、一層此營利會社デナイト云フ性質ヲ……染料會社カラ比較シテ見マスト明ニナツテ居ル次第デゴザイマス、固ヨリ將來ノコトニ於テハ、其事業ノ性質ニ依ツテハ、斯様な補給ノ仕方ガ萬ナイトハ保證ガ出來マセヌケレドモ、將來ニ於キマシテハ政府ノ希望スル所ハ、成ルベク輕便鐵道ナドノ補助法ニ依リタイト云フ考ヲ特ツテ居リマス、即チ政府ハ損失ノ補填ノ義務ヲ持タズニ、唯利益ノナイ場合ニ於テ、株主ノ出資ニ對スル配當ノ保證ダケニ止メルガ大體宜カラウト考ヘテ居リマス

〔淺田德則君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 今大藏大臣ガ發言セラレマスカラ暫ク御待チテ願ヒマス

〔國務大臣男爵高橋是清君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵高橋是清君) 大正八年度總豫算追加第四號ニ付テ大略ノ説明ヲ致シマス、此追加第四號ニ計上イタシタル金額ハ、歳入歳出各二十五萬餘圓デゴザイマス、本追加豫算提出ノ理由ハ、一ハ貴族院ヨリ提出ニ相成リマシタル、史蹟名勝天然紀念物保存法ノ制定セラル、ニ於テ、是ガ調査費ヲ要シマス、二ニハ度量衡法ノ改正ニ伴ヒマシテ、是ガ施行準備ノ爲メ經

費ヲ要スルノデゴザイマス、右兩法ハ一口モ速ニ施行スルノ必要アリト認メマシテ、緊急其準備ノ爲メ本追加額ヲ提出シマシタル次第デゴザイマス、何レモ法律施行ニ對スル經費デゴザイマスカラ、御審議ノ上速ニ御協賛ヲ切望イタシマス

○淺田德則君 唯今問題ニ供セラレマシタル第一、第二、第三ト、唯今御紹介ニナリマシタル第四號ノ追加豫算、此四件ニ關係イタシマスル審査期限デアリマスル、既ニ會期モ切迫イタシマシタルニ依ツテ、審査結了次第ニ報告スルト云フコトニ定メラレムコトヲ望ミマス

○男爵高木兼寛君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 淺田德則君ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第十二、中等學校教員優遇ニ關スル建議案、侯爵德川賴倫君外六名發議、會議、建議案ヲ朗讀イタサセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

中等學校教員優遇ニ關スル建議案

右貴族院規則第六十四條ニ依リ提出候也

大正八年三月二十一日

發議者

侯爵德川 賴倫	伯爵林 博太郎	子爵青木 信光
男爵高木 兼寛	江木 千之	谷 森 眞男

賛成者

伯爵松 浦 厚	伯爵大木 遠吉	男爵小澤 武雄
子爵平田 東助	子爵松平 乘承	子爵松平 康民
子爵藤谷 爲寛	子爵前田 利定	子爵板本 武憲
子爵今城 定政	子爵伊東 祐弘	子爵堤 雄長
子爵白川 資長	子爵八條 隆正	子爵板倉 勝憲
子爵米倉 昌達	淺田 德則	高崎 親章
男爵中川 興長	有松 英義	和田 彦次郎

男爵村木 雅美	男爵坂本 俊篤	男爵神田 乃武
男爵田 健治郎	男爵武井 守正	男爵内田 正敏
男爵肝付 兼行	男爵山内 長人	岡田 良平
男爵南岩倉 具威	男爵若王子 文健	男爵德川 厚
男爵船越 光之丞	男爵北大路 實信	男爵眞田 幸世
男爵安場 末喜	男爵坪井 九八郎	男爵福原 俊九
男爵清水 資治	男爵岩倉 道俱	男爵安藤 直雄
男爵赤松 範一	男爵二條 正麿	男爵調所 恆德
男爵藤堂 高成	男爵辻 太郎	男爵東郷 安
男爵矢吹 省三	石井省一郎	中島 永元
藤田 四郎	石黒五十二	石渡 敏一
加太 邦憲	阪本 鈺之助	高田 早苗
木場 貞長	菅原 通敬	伊澤 多喜男
高橋 作衛	西久保 弘道	野々村久太郎
佐藤 傳兵衛	星島 謹一郎	鎌田 勝太郎
橋本 辰二郎	土田 萬助	西川 甚五郎
大森 慶次郎	横山 章	

貴族院議長公爵德川家達殿

中等學校教員優遇ニ關スル建議

中等教育ハ國民ノ中堅タルヘキ人物ヲ養成スルノ一大事業ニシテ其ノ盛衰張弛ハ實ニ國家隆替ノ繫ル所ナリ豈ニ重ンセサルヘケンヤ然ルニ中等學校教員ハ其ノ任ノ頗ル重キニ比シ其ノ待遇ノ極メテ薄キカ爲ニ多年在職、徳識並ニ進メルカ如キ者ハ到底從來ノ俸給ヲ以テ其ノ位置ニ留マラシムルヲ得サルノ實況ナルノミナラス近時物價ノ騰貴ハ一般ノ中等學校教員ヲ通シ前日ノ生計ヲ持續スルコト能ハサルハ勿論甚シキニ至リテハ一家ヲ支フルテコトヲ得スシテ其ノ窮逼ノ狀勝テ言フヘカラザルモノアリ中等教育ノ前途眞ニ憂慮ニ堪ヘザルナリ政府ハ深ク此ニ省察ヲ加ヘ速ニ其ノ俸給ヲ厚クスルノ途ヲ講スルト同時ニ國費ヲ以テ年功加俸ヲ支給スルノ制ヲ設ケテ教員優遇ノ實ヲ舉ケ以テ中等教育ノ振興ヲ計ラレムコトヲ望ム

右建議ス

○議長(公爵德川家達君) 江木千之君

〔江木千之君演壇ニ登ル〕

○江木千之君 唯今議題ニ上ツテ居リマス所ノ建議案ノ理由ヲ述ベマスルニ方リマシテ、先以テ中等學校教員ノ範圍ヲ説明イタシテ置キタイト考ヘルノデアリマス、此ニ中等學校教員ト申シマスルノハ、公立ノ中學校教員、師範學校教員、高等女學校教員、中等程度ノ實業學校ノ教員ヲ網羅スルノデアリマス、倍此中等教育ナルモノハ國家ノ中堅タルベキ人物ヲ陶冶スルノ一大事業デアリマシテ、其盛衰興廢ハ國家ノ隆替ニ關係スル譯デアリマシテ、ソレハ私ガ今喋々スルヲ俟タヌ次第デアリマス、是ニ於テカ中等教育ノ費用ハ國庫ノ負擔ニスベシト云フノ論ガ、政治家教育家ノ間ニ段々起ツテ參ル譯デアリマス、併ナガラ此多額ノ中等教育費ヲ、之ヲ今國庫ニ移スト云フコトハ今日ノ財政上到底爲シ得ベキコトデナイト考ヘマスル、ノミナラス之ヲ唯一ノ理想ヨリシテ國庫ノ經濟ニ移シテ見マシタ所ガ、中等教育ノ實質ニ於テハ何等改良ノ實ノ舉ラヌ譯デアリマスル、ソレ故ニ中等教育ノ改良ノ爲ニハ比較的少額ノ金員ヲ支出シテ、改良上比較的大ナル效果ヲ收メルヤウナコトヲ考ヘナクテハナラヌノデゴザイマスル、即チ年功加俸ノ制度ヲ設クルコトガ最も能ク此趣旨ニ適シテ居ルノデアリマスル、今初等教育ト國庫ノ關係ハ如何ニナツテ居ルカト云フコトヲ考ヘテ見マスルト、小學教育補助費トシテハ年々二百万圓ヲ支出シテ、之ヲ教員ノ年功加俸、特別加俸ニ支辨シテ居ルノデアリマス、其外教育基金ノ利子數十万圓ヲ地方ニ支給シテ、小學經營ノ費用ニ充テラレテ居リ、尙ホ數十万圓ヲ國庫ヨリ支出シテ教員ノ退隱料ノ一部ニ充テテ居ルヤウナ譯デアリマシテ、殊ニ本年度ノ初ヨリハ一千万圓ノ巨額ヲ支出シテ小學教員ノ俸給ニ充テルト云フコトニナツタノデアリマス、又大學以下高等諸學校ノ方面ハ如何デアルカト云フコトヲ見マスルニ、政府ハ此度四千四百五十万圓ノ臨時費ヲ支出シテ、大學學部、高等諸學校ノ創設擴張ヲ圖ラルルノ考デ、今本院ノ協賛ヲ求メテ居ルヤウナ次第デアリマスル、僅ニ六年間ニ二十九ノ高等諸學校、數箇ノ大學學部ヲ一氣呵成ニ創設シヤウト云フ政府ノ計畫デアリマスル、此計畫ガ果シテ成立チマシタナラバ、年々經費ハ幾許ヲ要スルカト申シマスルト、千四百萬圓ノ巨額ニ達スルノデアリマシテ、今日大學以下高等諸學校ノ爲ニ國庫ガ支出シテ居ル七百餘萬圓ニ比較スルト丁度倍額ニ達スルノデアリマス、國庫ハ初等教育ニ對シテ斯ノ如ク巨額ノ金員ヲ支出シテ居リ、高等諸學校ニ對シテハ又斯ノ如キ巨額ノ此金員ヲ支出セム

トシテ居ルノデアリマス、今中等教育ノ費用ヲ以テ之ニ比較シテ見マスル
ト、非常ナ懸隔ガアルノデアリマシテ、中等教育ノ爲ニハ僅カ數十萬圓ノ恩
給ヲ支給シテ居ルニ過ギスノデアリマス、斯ノ如クシテ國家將來ノ爲ニ社
會ノ中堅人物ヲ養成スルノ實ヲ舉ゲルコトガ出來マセウカ、如何デアリマセ
ウカ、到底中等教育ヲ此儘ニシテ置クコトハ出來マイト考ヘマスルガ、併ナ
ガラ今俄ニ初等教育高等教育ニ對スル比較ヲ取ツテ、之ト權衡ヲ得セシメヤウ
ト云フコトハ容易ナラヌコトデアリマスルガ、前申ス年功加俸ノ制ヲ採用シ
テ今日ノ急ヲ塞グヨリ外ハナイト考ヘマス、今外國ノ實例ヲ顧ミテ見マスル
ニ、佛蘭西ノ如キハ七年制ノ高等學校ヲ百八校マデ國費ヲ以テ維持シテ居ル
有様デアリマス、獨逸ノ如キハ普魯西ノ一國ニシテ九年制ノ高等學校ヲ五百
六十校有シテ、概ネ國費ヲ支出シテ之ヲ維持シテ居ルト云フ有様デアリマス、
今俄ニ外國ノ眞似ヲスル譯ニハ行カズ、又我國ノ初等教育、高等教育ノ比較
ヲ取ツテ俄ニ中等教育費ヲ國庫ヨリ多額ノ支出ヲスルト云フコトハ出來マセ
ヌガ、セメテ今日ノ急ヲ救フ爲ニ年功加俸ノ制ヲ設クルコトハ最モ必要デア
ラウト思フノデアリマス、然ルニ此頃兩院ヲ通過イタシマシタ所ノ地方稅制
限ノ擴張ノ法律デアリマスルガ、政府ハ此法律ニ依ツテ中等教員ノ俸給ヲ相當
ニ増スコトガ出來ルト云フコトヲ申シテ居ラレマスルガ、是ハ政府ノ考ヘラ
レル如クニ參ルマイト考ヘルノデ、今日地方稅制限ノ擴張ヲスルニ至ツタ此
歴史ヲ承ツテ見マスルト、元ト前内閣ニ於テ文部當局ハ教員ノ臨時手當ヲ給シ
タイ、臨時事件費ノ内ヨリ支出イタシタイト云フノデ、評議ヲ凝シタ所ガ何
分國庫ヨリ支出スル譯ニハ往カナイト云フノデ、遂ニ地方稅ノ制限ヲ擴張シ
テ地方費ヨリ支出セシメヤウト云フノデ、ソレヲ原因ニナツテ此地方稅制限
擴張ノ法律案ヲ提出セラレ、此成立ヲ見ルニ至ツタノデアリマス、此地方費ノ
制限ヲ擴張シテ支出スル所ノモノハ、畢竟スルニ臨時手當ニ過ギナイ、判任
官ナリ高等官ノ臨時手當ト同一ノモノデアアルノデアリマス、縱シ五割ヲ給ス
ルコトニナリマシテモ、即チ臨時手當ノ性質ノモノデアアル、臨時手當ナルモ
ノハ、唯從來ノ生計ヲ大正八年後ニモ持續セシメヤウト云フ趣意ニ外ナラヌ、
從來ノ生活狀態ヲ將來ニモ繼續セシメヤウト云フ趣意ニ外ナラヌノデアリマ
ス、斯様ナ次第デアリマスカラ改良ト云フガ如キ意味ハ少シモ含ンデ居ラヌ
ノデアリマス、是ガ改良ヲ圖ルニハ、到底他ノ方法ニ依ルノ法ハナカラウト
考ヘル、縱シ又多少ノ教員ノ平均額ヲ増加イタシテ見マシテモ、今日ノ中等

教員ヲ待ツニハ足ラヌト私ハ考ヘルノデアリマス、唯今中等教員ノ俸給ハ五
十一圓ガ……來年度ノ豫算ニ於テハ地方議會ノ決議ヲ見マスルト、四圓バカ
リ増加シタヤウデアリマスガ、是ガ五十五圓或ハ六十圓ニナリマシタ所ガ、
其平均額ノ倍額ヲ一人ニ給スルト云フコトハ、地方ノ小政府ノ經濟ニ於テハ
甚ダ困難ナコトデアアルノデアリマス、現在中學ノ教頭ナドト稱ヘマスル重ナ
ル教員ニシテ幾何ノ俸給ヲ受ケテ居ルカト申シマスルト、千三百圓ノ年俸ヲ
受ケテ居ル者ハ僅ニ指ヲ屈スル程ホカハ無イノデアリマス、一万四千人ノ有
資格ノ教員ノ中デ指ヲ屈スル程ホカハ無イノデアリマス、其他ハ教頭ニシテ
漸ク千圓ノ年俸ヲ受ケテ居ルト云フヤウナ有様デアリマス、大學ニ於テ螢雪
ノ勞ヲ積ンデ卒業後教育ニ從事シテ十年、十數年ヲ費シテ、尙ホ其受ケル所
ノ報酬ハ斯ノ如キ有様デアアルノデアリマス、是ハ地方ニ委シテ置イテハ到底
十分ナルコトハ出來スノデアリマス、一人ニシテ平均額ノ二倍ヲ受ケルト云
フヤウナコトハ、地方デハ中々行ハレナイ、地方デ行ハレナイノミナラズ、
中央政府ニ於テモ容易ニ行ハレルコトデナイ、例ヘバ總理大臣ノ御膝元ニア
ル所ノ法制局ノ參事官ナドニシマシテモ、少シク年功ヲ積ンデ役ニ立ツヤウ
ニナツタト云フト、俸給ガ上ル、仕方ガナイ、惜シイ人デアルト云フ、斯ウ云
フ人、之ヲ行政裁判所ニ採ツテ貰フトカ、其他ノ地方ニ轉任サスト云フヤウナ
有様デアリマス、地方ノ小經濟ニ於テハ到底此平均額ノ倍額ヲ支給スルト云
フヤウナコトハ、縣會議員ナドノ眼前モアリマスシ、實際ニ於テ是ハ到底出
來ルモノデアアリマセヌ、此ニ於テ多年勤續スル所ノ優良ナル教員ニハ國庫
ガ年功加俸ニ依ツテ相當ノ額ヲ支給シマスルナラバ、地方ニ於テ之ヲ俸給ガ高
イカラト云ツテ罷免スルコトハ出來ナイノデ、罷免シタ所ガ國庫ノ金ハ地方ニ
這入ツテ來ルト云フ譯ニハ參ラヌノデアリマス、優良イ教員ハ久シク其職ニ留
メテ置クト云フ結果ニナルノデアリマス、即チ教育會議ニテモ種々審議ノ
末年功加俸ノ制ト、特別加俸ノ制ヲ設ケルト云フコトニナツタデアリマスル
ガ、私ハ特別加俸ノ制ハ今日時局ガ終ヲ告ゲタ以上ハ、今日此制ヲ急ニ設ク
ルノ必要ハ無イト考ヘルノデアリマス、唯年功加俸ノ制ハ一日モ之ヲ忽ニス
ルコトハ出來ナイト信ズルノデアリマス、此年功加俸ノ制ハ唯教員ノ物質上
ノ優遇ニハ止ラヌノデアリマス、是ガ中等教員ノ思想上、精神上ニ餘ホド關
係ヲ有ツノデアリマス、今日マデハ中等教員ニ對シテハ國庫ハ構ハナイ、地
方一任デアルト云フコトハ、中等教員ノ腦裡ニハ不愉快ヲ感ジテ居ルノデア

リマス、ノミナラズ此年功加俸ノ制ハ教育會議ニ於テ之ヲ決定シタト云フノデ、是ガ教育社會ニ知レ渡ッテ、中等教員ハ大ニ喜ンデ將來ヲ期待シテ居ッタデアリマスルガ、前内閣ハ年功加俸ノ豫算ヲ編成シテ大藏省ニ廻付シタノデアリマス、其中内閣ニ更迭ガアッテ、現文部大臣モ依然トシテ前内閣ノ計畫ヲ繼續シヤウトシテ居ラレタ、處ガ大藏省ニ於テハ財政ノ都合ヲ以テ之ヲ半減ニシ、更ニ是ガ閣議ニ係ッテ全ク棒ヲ引カレテ何モ無イヤウニナッタト云フコトハ、公然ノ祕密デ、中等教育社會ニハ是ガ知レ渡ッテ實ニ中等教員ハ失望ヲシテ居ル、意氣沮喪ノ有様デアル、之ニ付テハ關西地方ノ教員、或ハ東北地方ノ教員ナドヨリ私ノ所ニハ數十通書面ガ參ッテ居ルデアリマスガ、其書面ハ決シテ彼等ガ卑劣ナコトヲ訴ヘルノデナイ、私共ニ書面ヲ寄越スニ付テハ皆何レモ禮節ヲ守ッテ、サウシテ其衷情ヲ訴ヘテ居ルデアリマス、茲ニ餘リ時間ヲ長クシテハ相濟ミマセスカラ、其中ノ二通ノ一節ヲ朗讀シテ諸君ノ御參考ニ供シタイト考ヘル、其一通ハ關西地方ノ實業界デ今日ハ働イテ居ル人デアリマスガ、嘗テ中等教育ニ從事シテ居ッテ到底此薄給デハ遣リ切れス、清貧ニ甘ンジテヤッテ見タガ、多クノ家族ヲ支ヘルコトガ出來ナイノデ、遂ニ實業界ニ身ヲ投ジテ、サウシテ顧ミテ今日ノ教育界ヲ見ルト如何ニモ、默視スルニ忍ビス、傍觀者ノ位置カラ訴ヘルト云フコトデ私ニ書面ヲ送ッタノデアリマシテ、是ハ固ヨリ私ハ一面識モナイ人デアリマス、其書中ノ一節ヲ讀上ゲテ御參考ニ供シマスガ「從來我國ノ社會ノ各階級中ニ於テ比較的物質慾ニ淺ク、精神生活ノ味ヲ解シ、知足安分清貧ヲ樂ムモノノ多カリシハ教育界ノ人ナリキ、然ルニ彼等ハ近時激烈ナル經濟上ノ脅威ヲ受ケテ安心立命ノ地ヲ失ヒ從來自家ノ生計ニ對シ餘リ無用心ナリシヲ悔ユルコト甚シク而モ之ニ應スル方法無キヲ以テ（實業界ニ入ル便宜ヲ得ザルモノハ）其ノ自制心弛解シテ現代ヲ咒咀スルニ至レリ但幾分當局者ニ畏レル、大學教授ト世ニ憐マル、小學教員トハ多少其ノ境遇ノ改善ヲ得タレドモ畏レラレズ憐マレザル中等教員ハ繼子扱ヒヲ受ケテ抑ヘ難キ不平ニ氣ヲ腐ラスニ至レルナリ、歐米ノ新思想ニ對スル憧憬盛ニシテ思想ノ動搖期ニアル青少年而モ將來國民ノ中堅タルベキ青少年ト接觸シ交渉シ多大ノ影響ヲ之ニ及スベキモノハ何ゾ新聞雜誌ト中等教員トナリ而モ出版印行ハ如何様ニモ之ヲ取締リ得ベシ以口傳耳以心傳心ノ學校教育ハ内務モ文部モ如何ニシテ之ヲ取締リ得ベキカ今や國民思想動搖ノ危機ニ際シ各地方ニ普ク分布セル不平教育家ヲシテ青少年ノ教育ニ當ラ

シムルハ危險ナラズヤ當局者ハ火藥庫ノ番人ヲ擇ブノ注意ヲ知ラザルカ吾人ハ國運ノ前途ヲ思ヒテ慄然膚ニ粟セザル能ハザルナリ言フ勿レ現今ノ無能教育者ハ之ヲ喜バスマ事功ヲ舉グルニ足ラズ之ヲ怒ラスモ憂フルニ足ラズトイカニモ彼等ハ思想ノ指導矯正ニ無能ナルカモ知レズ然レドモ消防ノ能力ナキモノハ放火ノ力ナキモノト云フヲ得ベキカ嗚呼危シ危シ當局者ハ何故思フ茲ニ致サルカ嗚呼彼等ハ今コノ薄遇ヲ受ケツ、最モ堪忍張ク沈黙ヲ守リツ、アルガ如クナレドモソレダケ女性的ニ深刻ナル怨恨ヲ藏シツ、アルモ知ラザルベカラズ嗚呼乳母ヲ虐待シツ、愛兒ヲ託シ置ク國家ノ將來ハ如何ナルベキカ」斯ウ云フヤウナコトガ記載シテアルデアリマス、是ハ關西地方カラ參ッタノデアリマス、東北地方ノ現職ノ教員ノ送ッタ書面ノ一節ヲ尙ホ讀上ゲマスガ「孰レモ多數ノ子女ヲ養ヒ之ニ尊長親ヲ加ヘ候ヘバ少クトモ一家五六口ノ平均ト見ルベク、最近ノ趨勢ニテハ殆ンド勞働者ヨリモ少額ノ報酬ニ甘ンジテ昂騰止ル所ヲ知ラザル物價ニ脅カサレ妻兒饑ニ泣キ老親寒ヲ訴フルハ普通ノ事象ニ御座候コノ時教育會議ガ中等教員優遇ノ事ヲ疾呼シ第一ニ其年功加俸ヲ立案シ前内閣ハ之ヲ容レテ其豫算ヲ計上シタル公然ノ祕密ガ世間周知ノ事トナリシトキ是ニテ多少ノ生活ノ安固ヲ保セラル、ヲ感ジ候ヒシニ現内閣出現ト共ニ一場ノ屋氣樓ト消滅シ去リ候タメ失望落膽形容ノ辭モ無之候沙上偶語紛々トシテ耳ヲウチ申候爲政者ニシテ國民品姓ノ陶冶ニ從フ中等教育者中ヨリ有爲ノ輩ヲ驅逐シ去リテ徒ニ老廢無能ノ集團トスル者アリトセバ其將來ノ禍害ハ想像ノ外ナルベキハ明カナル儀ニシテ信ニ長大息ヲ禁ジ難ク候」云々ト云フヤウナ書面ガ參ッテ居リマスルガ、是等ハ誠ニ真情ヲ穿ツタモノデ如何ニモ中等教育社會ノ意氣ハ沮喪シテ居ルト考ヘラル、ノデアリマス、併ナガラ此中等學校教員ナル者ハ元ト國家ノ爲ニ教育勸語ノ聖旨ヲ奉體シテ社會ノ中堅人物ヲ陶冶シヤウト云フ、此高尚ナル抱負ヲ以テ教育界ニ入ッタモノデアリマスルカラ、決シテ彼ノ當利事業ニ唯汲々トシ、金儲ノ爲ニ奔走スルト云フ徒輩トハ其精神其意氣ニ於テ大ニ異ナル所ガアリマスルカラ、今政府ニシテ彼等ノ境遇ヲ改善シ、彼等ノ生活ヲ安固ニスルノ方策ヲ立ッテ以テ彼等ニ臨マレルナラバ、彼等ハ決シテ一時ノ生活難ニ挫折スルモノデモナカラウト考ヘルノデアリマス、日本男子中ノ錚々タル者ハ茲ニアルデアリマス、若シ此策ガ立タバ彼等ハ飽迄モ此高尚ナル素志ヲ貫イテ國家教育ノ爲ニ良成績ヲ舉ゲルコトト私ハ信ジテ疑ハナイデアリマス、此建議案ノ末文ニ於テ

「中等教育ノ振興ヲ計ラレムコトヲ望ム」トアルノハ是ハ言葉ヲ誠ニ丁寧ニシタダケデアリマスルガ、若シ之ヲ露骨ニ申スナラバ政府ハ中等教育ノ衰萎ヲ未前ニ防遏セラレムコトヲ望ムト云フノガ事實ニ當ッテ居ラウト考ヘルノデアリマス、ドウカ満場ノ諸君ハ此趣旨ニ御同意下スッテ、本案ガ速ニ決定セラレムコトヲ偏ニ希望イタシマス

○男爵高木兼寛君 本案ハ社會ノ現況ニ應ジタ極メテ重要ナル問題ト思ヒマス、故ニ十分ノ審議ヲ遂ゲテ申上ゲマスル必要ハナイコトデアラウト思ヒマスルカラ、ドウカ満場諸君直チニ之ニ御賛成下サレテ即決アラムコトヲ希望イタシマス

「賛成」ト呼フ者アリ」

○議長（公爵徳川家達君） 是ハ別ニ賛成者ヲ要シマセス、本建議案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

總員 起立

○議長（公爵徳川家達君） 全會一致ト認メマス、明日ハ通常ノ通り午前十時ヨリ開會イタシマス、議事日程ハ決定次第御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會

午後三時四十二分散會

